

萩原・沖中遺跡 8

— 工場新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

2 0 1 5

高 崎 市 教 育 委 員 会
協 和 発 酵 キ リ ン 株 式 会 社
技 研 コ ン サ ル 株 式 会 社



萩原・沖中遺跡 8 全景（冠雪した浅間山・榛名山を望む）



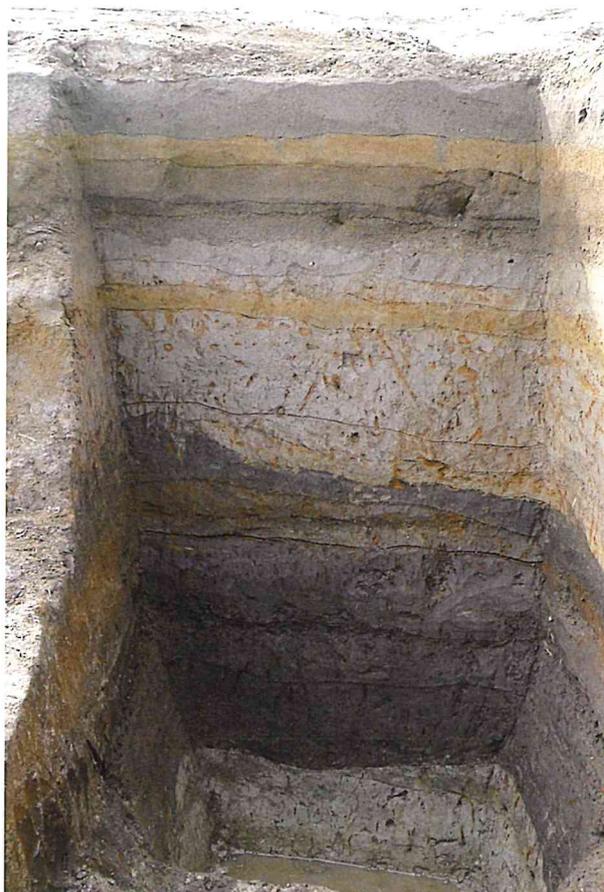
第 2 面 Hr-FA 洪水層下水田全景（上が東）



第1面 As-B軽石下水田全景（上が東）



基本土層A（南から）



基本土層B（北から）

例 言

- 1 本書は協和発酵キリン株式会社生産本部高崎工場（工場長 西村浩一）工場新設に伴う「萩原・沖中遺跡」第8次調査（市遺跡調査番号622）の発掘調査報告書である。本書での遺跡呼称は、萩原・沖中遺跡8と略す。
- 2 発掘調査から報告書刊行に至るまでの一連の作業は、協和発酵キリン株式会社の費用負担によって実施された。記して感謝の意を申し上げます。
- 3 遺跡の発掘調査および整理事業は、協和発酵キリン株式会社からの委託を受けた技研コンサル株式会社が、高崎市教育委員会文化財保護課の監理指導のもと実施した。
- 4 発掘調査および整理事業の体制は下記のとおりである。

遺跡名	萩原・沖中遺跡 第8次調査
遺跡所在地	群馬県高崎市萩原町100-1
監理指導	田口一郎・田辺芳昭（高崎市教育委員会）
調査担当	山田誠司（技研コンサル株式会社）
調査員	前田和昭・岡野 茂（技研コンサル株式会社）
発掘調査期間	平成27年1月5日～平成27年3月15日
整理事業期間	平成27年3月16日～平成27年8月31日
調査面積	1,343㎡
発掘調査参加者	新井 實 石井俊春 伊丹茂一 内嶋勝義 榎原義久 小田切勝己 小田切幹緒 桑原 襄 木暮知二 今野妙子 高橋一巳 福田公彦 福田正昭 益子廣治 間仁田章治 間庭啓治 矢島正志 矢内朝夫 吉澤栄一
整理事業参加者	新井悦子 飯島冬子 杉田友香 福島緑子

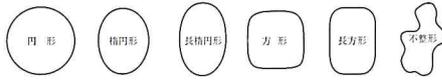
- 5 本書の編集は山田が行い、執筆は第1章を高崎市教育委員会文化財保護課が、その他を山田が行った。
- 6 発掘調査で出土した遺物および図面等の資料は、一括して高崎市教育委員会にて保管されている。
- 7 発掘調査および報告書の作成にあたり、下記の機関に御協力を賜った。記して謝意を表します。（敬称略）
キリンエンジニアリング株式会社 山下工業株式会社

凡 例

- 1 全体図および遺構平面図に示した方位は北に座標北を表し、座標については世界測地系に基づく平面直角座標第IX系を使用している。
- 2 挿図に国土地理院発行1/200,000『宇都宮』『長野』、1/25,000『高崎』『前橋』、高崎市発行1/2,500都市計画図、第1師管地方迅速測図『倉賀野驛』を使用した。
- 3 土層および遺物の色調は『新版標準土色帖』（農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修）に拠る。
- 4 遺構表示の記号は、溝：SD、土坑：SK、ピット：Pとした。
- 5 掲載図面の縮尺は、全体図は1/200、遺構個別の平面図および断面図は1/60を基本とし、それ以外のものについては右下にスケールを示した。
- 6 遺物実測図および拓影図の縮尺は、1/3を基本として大型の土器については1/4とし、それ以外のものについては右下にスケールを示した。
- 7 本文および表中の計測値については（ ）は残存値、〔 〕は復元値を表す。

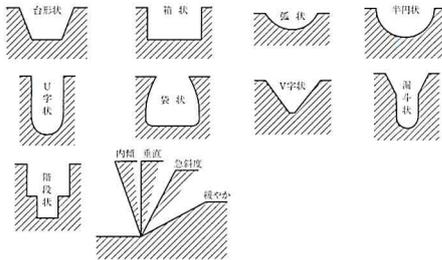
- 8 遺物写真図版は、1/3に近づけるように撮影を行い、それ以外のものについては右下に()で示した。
- 9 遺構図、遺物実測図のトーン表現は以下の通りである。
 遺構 水田被覆火山灰・洪水層：  焼土・灰範囲： 
 遺物 須恵器：  煤：  赤彩： 
- 10 断面図上の範囲記号は水田畦畔を示す。
- 11 主な火山灰降下物等の略称と年代は次の通りである。
 浅間A軽石 (As-A)- 天明3年 (1783) 浅間山噴火による降下テフラ
 浅間B軽石 (As-B)- 天仁元年 (1108) 浅間山噴火による降下テフラ
 榛名ニッ岳伊香保テフラ (Hr-FP)- 6世紀中葉の榛名山ニッ岳噴火による降下テフラ
 榛名ニッ岳洪川テフラ (Hr-FA)- 5世紀末～6世紀初頭の榛名山ニッ岳噴火による降下テフラ
 浅間C軽石 (As-C)- 3世紀後葉～4世紀初頭の浅間山噴火による降下テフラ
- 12 土坑 (SK) の平面および断面形状の分類基準は以下の通りである。

平面



平面	
円形	長径が短径の1.2倍未満のもの。
楕円形	長径が短径の1.2倍以上1.5倍未満のもの。
長楕円形	長径が短径の1.5倍以上のもの。
方形	長軸が短軸の1.2倍未満のもの。
長方形	長軸が短軸の1.2倍以上のもの。
不整形	凸凹で一定の平面形を持たないもの。ただし、おおよその形状がわかるものは、不整形形、不整形楕円形、不整形長方形、不整形正方形と呼ぶこともある。

断面



断面	
台形状	底部に平坦面を持ち、緩やか～急斜度に立ち上がるもの。
箱状	底部に平坦面を持ち、ほぼ垂直に立ち上がるもの。
弧状	底部に平坦面を持たない弧状で、緩やかに立ち上がるもの。
半円状	底部に平坦面を持たない椗状で、急斜度に立ち上がるもの。
袋状	確認面の径よりも底部の径が大きく、内傾した後に垂直ないしは外傾して立ち上がるもの。
階段状	階段状の立ち上がりを持つもの。広い中段(テラス)を持つものを含める。
U字状	確認面の長径よりも深さの値が大きく、ほぼ垂直に立ち上がるもの。
漏斗状	下部がU字状、上部がV字状の二段構造からなるもの。
V字状	点的な底部を持ち、急斜度に立ち上がるもの。

【和泉A遺跡】新潟県埋蔵文化財調査事業団 1999、【上洞名遺跡VI】伊勢崎市教育委員会 2008、【南部拠点地区遺跡群No.4】前橋市教育委員会 2010より作成

目次

巻頭図版

例言

凡例

第1章 調査に至る経緯	1	2 第2面 (Hr-FA洪水層下水田)	17
第2章 遺跡の立地と環境	1	(1) 水田	17
1 地理的環境	1	3 第1面 (As-B軽石下水田)	25
2 歴史的環境	1	(1) 水田	25
第3章 調査の方法と経過	5	(2) 溝	27
第4章 基本層序	6	(3) 土坑	28
第5章 検出された遺構・遺物	7	(4) ピット	32
1 第3面 (As-C軽石混土層)	7	第6章 調査の成果とまとめ	33
(1) 調査の概要	7	1 調査の成果	33
(2) 周溝状遺構	7	2 まとめ	35
(3) 埋甕	13		
(4) 土坑	14		

挿図目次

第1図 遺跡位置図	iv	第15図 SK14～18平面・断面図、出土遺物	15
第2図 高崎の地形	iv	第16図 第2面全体図	18
第3図 周辺遺跡図	3	第17図 Hr-FA 洪水層下水田畦畔断面図	19
第4図 調査区設定図	5	第18図 Hr-FA 洪水層下水田水口断面図	20
第5図 基本層序	6	第19図 足跡平面図	24
第6図 第3面全体図	7	第20図 第2面出土遺物	24
第7図 1号周溝状遺構平面・断面図	8	第21図 第1面全体図	26
第8図 1号周溝状遺構断面図、出土遺物	9	第22図 As-B 軽石下水田畦畔・水口断面図、出土遺物	27
第9図 2・3号周溝状遺構平面・断面図	10	第23図 SD01・02断面図、出土遺物	28
第10図 2号周溝状遺構出土遺物	11	第24図 SK01～07平面・断面図、出土遺物	30
第11図 3号周溝状遺構出土遺物	12	第25図 SK08～13平面・断面図	31
第12図 4号周溝状遺構平面・断面図、出土遺物	12	第26図 P01～04平面・断面図	32
第13図 5号周溝状遺構平面・断面図、出土遺物	13	第27図 「周溝をもつ建物」・周溝墓の遺構検出模式図	33
第14図 1号埋甕平面・断面図、出土遺物	14	第28図 本遺跡周辺のAs-B軽石下水田と坪内区画	34

表目次

第1表 周辺遺跡一覧表	3	第4表 第2面出土遺物観察表	24
第2表 第3面出土遺物観察表	15	第5表 As-B軽石下水田計測表	25
第3表 Hr-FA 洪水層下水田計測表	21	第6表 第1面出土遺物観察表	32

写真図版目次

PL.1 第3面全景（北から） 第3面全景（南から）	PL.5 As-B軽石下水田全景（南から） As-B軽石下水田全景（北西から） 畦畔全景（南から） 水口全景（南から） 畦畔C-C'（北から） 畦畔D-D'（南から） 畦畔H-H'（東から） 畦畔M-M'（東から）
PL.2 1号周溝状遺構全景（南西から） 1号周溝状遺構遺物出土状況（東から） 2・3号周溝状遺構全景（南から） 3号周溝状遺構遺物出土状況（西から） 4号周溝状遺構全景（南から） 4号周溝状遺構遺物出土状況（南から） 5号周溝状遺構全景（南東から） 5号周溝状遺構検出状況（南から）	PL.6 SD01全景（南から） SD02全景（西から） SK01全景（南から） SK02・03全景（南から） SK04・05全景（東から） SK06全景（東から） SK07～09全景（南から） SK10全景（西から）
PL.3 1号埋甕全景（南から） 1号埋甕掘り方全景（南から） SK14全景（東から） SK15全景（南から） SK15遺物出土状況（南から） SK16・17全景（東から） SK18全景（南から） SK18焼土・灰検出状況（南から）	PL.7 出土遺物
PL.4 Hr-FA 洪水層下水田全景（南東から） 畦畔・水口検出状況（南西から） 東西大畦畔・水口全景（南西から） 東西大畦畔断面（南から） 足跡A完掘状況（南から） 足跡B完掘状況（南から） 足跡C完掘状況（南から） Hr-FA 洪水層下水田調査風景（南から）	PL.8 出土遺物

第1章 調査に至る経緯

平成26年10月、協和発酵キリン株式会社 生産本部 高崎工場 西村浩一氏（以下事業者）より高崎市教育委員会（以下市教委）に工場新設予定地の埋蔵文化財の状況について照会があった。市教委は、照会地は埋蔵文化財包蔵地であるため、試掘調査による確認を実施し工事と埋蔵文化財保護との調整が必要な旨を回答した。

同年、10月2日付けで事業者より試掘調査申込書が提出されたのを受けて、市教委は同年10月27日～29日に工事予定地の試掘調査を実施し、古墳時代～平安時代の水田跡等を確認した。

試掘結果を受けて埋蔵文化財保護について事業者と協議を行ったが、計画変更は不可能ということなので、開発予定地について記録保存の発掘調査を行うことで合意した。

発掘調査は、市教委の作成する調査仕様書に基づく指導・監理の下、技研コンサル株式会社に委託して実施することとなり、平成26年12月17日付けで高崎市教育長・事業者・技研コンサル株式会社の三者協定を締結した。さらに協定に基づき平成26年12月9日付けで事業者と技研コンサル株式会社の二者で発掘調査委託契約が締結された。

第2章 遺跡の立地と環境

1 地理的環境

「萩原・沖中遺跡8」は高崎市萩原町に所在し、高崎市中心街から東へ約6kmの市域東端部に位置する。東には利根川が高崎市と前橋市の市境を南流し、南西には滝川が流れている。この滝川は江戸時代初期に開削された用水路（天狗岩用水）であり、現在でも周辺や下流域の水田を潤している。

本遺跡は約24,000年前（洪積世後期）の浅間山を構成する黒斑山の大規模噴火に伴う山体崩落による火山泥流堆積物（前橋泥流）と、それを被覆する水成ローム層から成る前橋台地に立地する。遺跡の東側を南流する利根川は、中世以前には現在の広瀬川が流れる広瀬川低地帯に流路があったが、中世の複数回の洪水により旧河川の流路を奪取する形で現在の位置に変流したとされる。

本遺跡周辺の現況は、相馬ヶ原扇状地を水源とする中小河川沿いの自然堤防上の微高地は宅地、その後背湿地は水田として利用されている。また近年では、道路整備や商業施設の出店等により田畑の宅地化が進んでいる地域でもある。

2 歴史的環境

縄文時代

本遺跡周辺の縄文時代の遺跡は少ない。公田池尻遺跡（35）の土坑、西田Ⅲ遺跡（49）で草創期の有舌尖頭器、横手湯田遺跡（40）で溝底部より中～後期にかけての土器片が、周辺地域では元鳥名遺跡（19）で長方形土坑から後期の深鉢と土器周囲から炭化物が検出されている。まとまった形での遺構・遺物の出土例は現在のところ知られていないが、土器片や石器の出土が広範囲に分布することから、小規模な集落が点在していた可能性が考えられる。

弥生時代

縄文時代と同様に、利根川流域周辺での遺跡は少ないが、公田池尻遺跡では弥生期の水田の存在を窺わせる用水路跡が確認されている。本遺跡南西の井野川周辺では、元鳥名遺跡・鈴ノ宮遺跡において集落跡や方形周溝墓が確認されており、関越自動車道沿線を北西に進んだ位置には集落や水田跡が確認された国指定史跡の日高遺跡が存在する。

古墳時代

古墳時代になると遺跡数は前時代に比べ急激に増加する。微高地に集落を造り低地に水田を営み、井野川や鳥川流域には墳墓が造営されるようになる。井野川左岸には県内最古の古墳として位置付けられている全長90mの前方後方墳である元島名將軍塚古墳（ア）や、1966年の調査で複室構造の両袖型横穴式石室が確認された前方後円墳の前山古墳（イ）等があり、下流域には多量の副葬品や埴輪が出土した国指定史跡の綿貫観音山古墳や、舟形石棺をもつ不動山古墳等が存在する。西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱ（10）や、周辺の棚島川端遺跡、公田東遺跡、横手湯田遺跡等では周溝墓が確認されている。また井野川左岸には、5世紀の堀跡の一部が確認され周辺域を治めていた豪族の居館跡と推定される下滝天水遺跡がある。

集落遺跡としては前期では上滝遺跡（26）、横手早稲田遺跡（38）、公田池尻遺跡、横手湯田遺跡、後期では中大類金井遺跡（23）、中大類金井分遺跡（24）、上滝榎町北遺跡（30）等が挙げられる。集落の分布域は主に井野川兩岸の河岸段丘上の低台地に集中し、北西の低地部では集落遺跡が皆無に等しく、生産域として活用された地域であったことが窺える。

生産遺跡としての水田跡は本遺跡の周辺においても広範囲で確認されている。本遺跡周辺では6世紀初頭と中葉の2回にわたる榛名山噴火時の泥流や火山灰で埋没した水田（Hr-FA下水田、Hr-FP下水田）が検出されており、ほとんどが小畦畔で区画された「小区画水田」である。

奈良・平安時代

前橋市元総社町付近に国府が造営され、台地上では条里地割に基づく大規模な耕地開発が行われた時期である。所謂「条里制」の施工時期については不明な点も多いが、西田遺跡では9世紀後半代の竪穴住居跡を切って条里地割を伴う水田跡が確認されており、遅くとも9世紀代には水田開発が行われたと思われる。天仁元年（1108）の浅間山の噴火によるAs-B軽石層に覆われた水田跡が本遺跡周辺のほぼすべての調査地点で検出され、耕地が爆発的に増大したことが分かっている。

この時期の集落遺跡は前時代と同様に自然堤防上等の微高地に分布し、中大類金井分遺跡、上滝遺跡、下大類蟹沢遺跡（32）、公田池尻遺跡、西田遺跡（47）、西田Ⅱ遺跡（48）、西田Ⅵ遺跡（51）等が挙げられる。

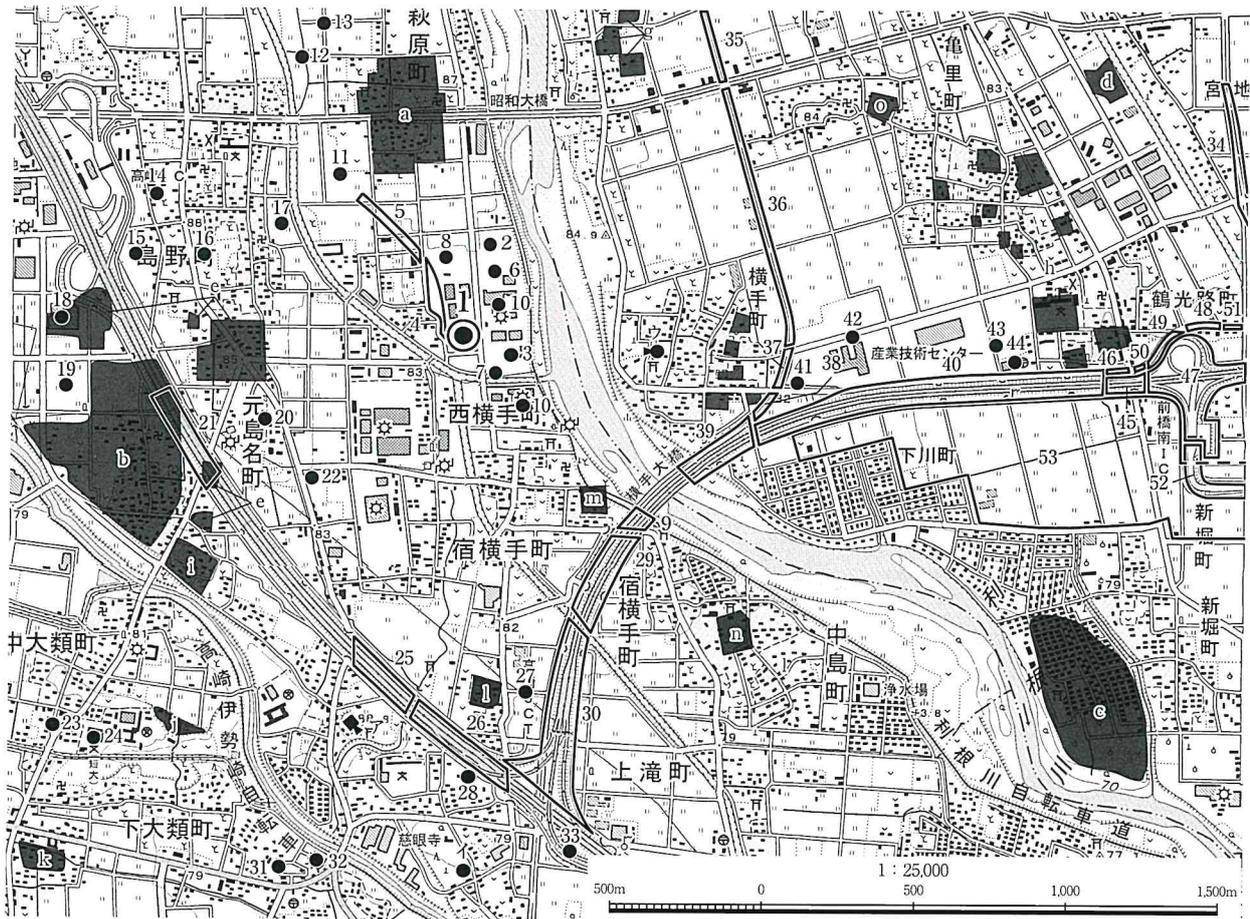
中世

中世には阿内城（阿内古城、d）等のような攻撃・防御拠点となる城館が多く築かれるようになり、享徳3年（1454）、鎌倉公方足利成氏による関東管領上杉憲忠の誅殺に端を発し約30年間続いた戦乱（享徳の乱）の影響を本遺跡周辺でも窺うことができる。

戦国時代になると高崎市東南部～伊勢崎市西部にかけての微高地上には、地元の有力氏族や外来支配者によって城館が数多く造られる。本遺跡の北側にある萩原城（a）は、地侍である萩原地衆の16世紀代の城館とされている。また、本遺跡南西に位置する元島名城（島名城、b）では発掘調査が行われており、本丸と推定される郭の堀跡や掘立柱建物跡・井戸等が確認された。出土遺物は内耳鍋・鉢の軟質陶器や、瀬戸・美濃等の陶磁器を中心に出土している。石製品の中には石臼・五輪塔の他、板碑が出土しており延慶2年（1309）の銘がある。

近世

近世の遺構としては、天明3年（1783）に浅間山が噴火し、降り積もった火山灰（As-A）を地中に埋めて処理した所謂「復旧痕（灰搔き穴）」が宿横手三波川遺跡（29）、横手南川端遺跡（39）、横田湯田遺跡、下阿内壱町畑遺跡（52）で確認されている。また、本遺跡の南東に位置する上福島中町遺跡では利根川を流下した泥流下から被害の受けた集落跡が確認され、当時の被害状況を伝えている。



第3図 周辺遺跡図

第1表 周辺遺跡一覧表

No	遺跡名	水田				時代：主な遺構・出土遺物	報告書・参考文献
		C	FA	FP	B		
1	萩原・沖中遺跡8						
2	萩原・沖中遺跡7		○	○	○	古墳：溝。	『萩原・沖中遺跡7 西横手・西免遺跡4 西横手・西免遺跡5』2013 高崎市教育委員会
3	西横手・西免遺跡4、5		○		○	近世：堀。	
4	萩原沖中遺跡		○	○	○	近世：溝。	『萩原沖中遺跡』2005 高崎市教育委員会
5	萩原沖中Ⅱ遺跡		○	○	○	近世：溝。	『萩原沖中遺跡Ⅱ』2007 高崎市教育委員会
6	萩原沖中遺跡第3次調査		○	○	○	古墳：土坑・ビット・溝。	『萩原沖中遺跡第3次調査』2009 高崎市教育委員会
7	萩原沖中遺跡5		○	○	○	-	『萩原沖中遺跡5』2009 高崎市教育委員会
8	萩原・沖中遺跡6		○	○	○	-	『萩原・沖中遺跡6』2009 高崎市教育委員会
9	西横手遺跡群	○	○	○		古代：住居跡・掘立柱建物。 中近世：屋敷跡・墓域群。	『西横手遺跡群』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
10	西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱ		○		○	古墳：周溝墓・水路跡。中世：畝状遺構。 近世：備前堀。	『西横手遺跡群Ⅰ』1989 『西横手遺跡群Ⅱ』1990 高崎市教育委員会
11	萩原八幡埜遺跡		○		-	-	『高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告17』2003 高崎市教育委員会
12	萩原八幡西・萩原上五丁田Ⅲ・ 下五丁田Ⅱ遺跡		○	○		古代：溝。中世：道路跡。	『萩原八幡西・萩原上五丁田Ⅲ・下五丁田Ⅱ遺跡』2003 高崎市教育委員会
13	萩原上五丁田Ⅰ遺跡		○	○	○	-	『群馬県高崎市 萩原上・下五丁田Ⅰ遺跡』1999 県央処理区萩原遺跡調査会
14	島野神明遺跡					古代：As-B下皿。	『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』1992 高崎市教育委員会
15	島野四辻遺跡				○	-	『飯塚新田西Ⅲ遺跡・島野四辻遺跡・第17回埋蔵文化財展事業報告』2000 高崎市教育委員会
16	島野村西遺跡		○		○	-	『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報14』2000 高崎市教育委員会
17	島野村東遺跡				○	-	『島野村東遺跡』1988 高崎市教育委員会
18	元島名中子遺跡				○	-	『高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告13』1999 高崎市教育委員会
19	元島名遺跡					縄文：土坑。弥生：住居跡。古墳：前期の住居跡。 中世：掘立柱建物跡・井戸。	『元島名遺跡』1979 高崎市教育委員会
20	元島名諏訪北遺跡				○	-	『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』1992 高崎市教育委員会
21	元島名B遺跡					中世：元島名城の堀・溝。	『元島名B・吹屋遺跡』1982 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
22	島野中町遺跡		○		○	-	『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』1992 高崎市教育委員会
23	中大類金井遺跡					古墳：後期の住居跡。古代：平安期の土坑。	『中大類金井遺跡』1989 高崎市遺跡調査会

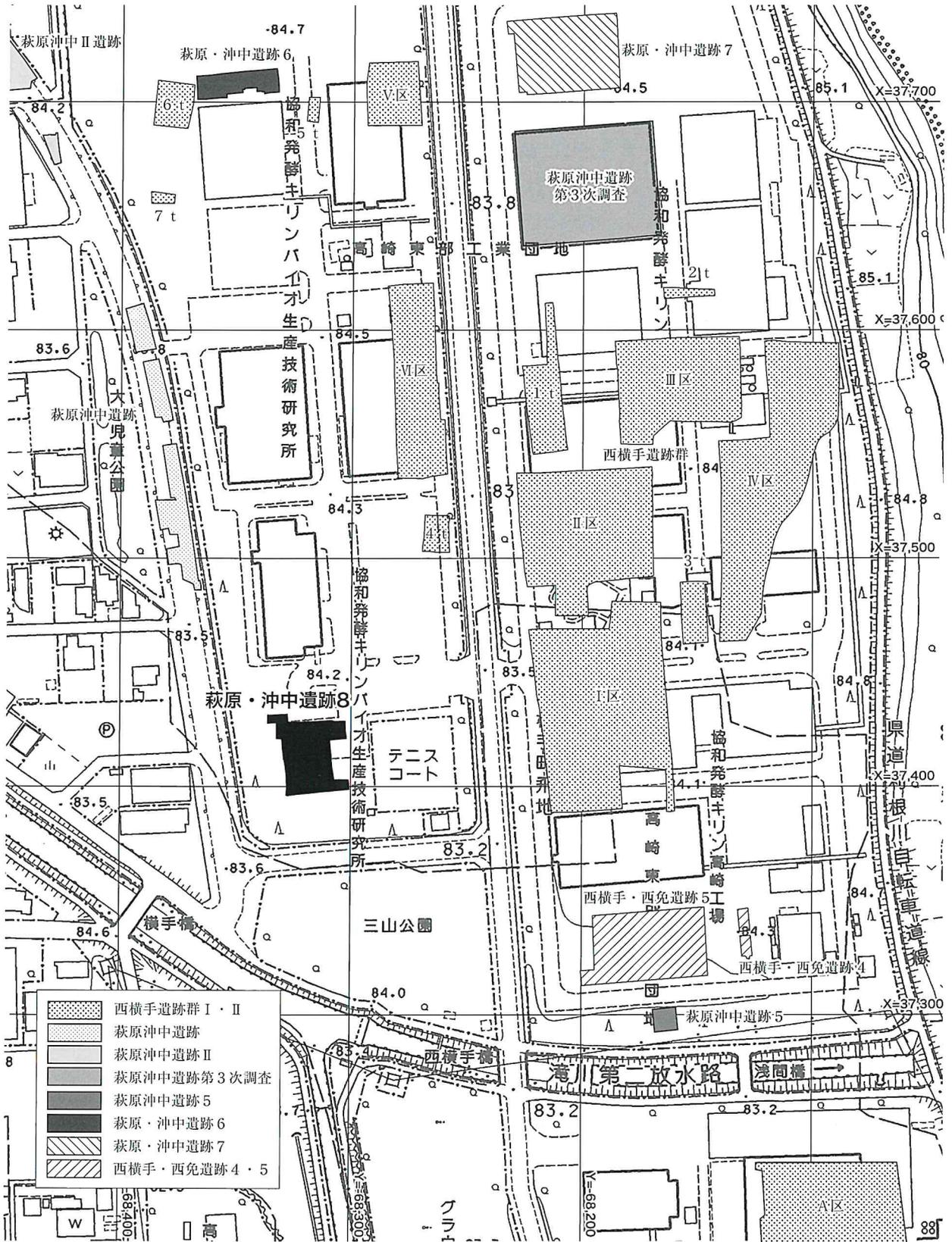
No	遺跡名	水田				時代：主な遺構・出土遺物	報告書・参考文献
		C	FA	FP	B		
24	中大類金井分遺跡					古墳：後期の住居跡。古代：奈良期の住居跡。	『中大類金井分遺跡』1992 高崎市遺跡調査会
25	元島名 A 遺跡					-	『八幡原 A・B、上滝、元島名 A 遺跡』1981 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
26	上滝遺跡					古墳：前・後期の住居跡。 古代：奈良期の住居跡。中世：居館周濠。	『下宿田・滝川 A 遺跡、滝川 B・C 遺跡』1987 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
27	上滝榎町北 II 遺跡		○	○	○	中世：竪穴状遺構、掘立柱建物跡。	『上滝榎町北 II 遺跡』1997 高崎市遺跡調査会
28	上滝 II 遺跡		○	○		中世：堀切。	『上滝榎町北遺跡・上滝 II 遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
29	宿横手三波川遺跡		○	○	○	中世：掘立柱建物跡・土坑・竪。 近世：竪・溝・灰掻き穴。	『宿横手三波川遺跡』1999 『宿横手三波川遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
30	上滝榎町北遺跡	○	○		○	古墳：後期の住居跡。中世：居館跡。 近世：水田跡。	『上滝榎町北遺跡』2002 『上滝榎町北遺跡・上滝 II 遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
31	下大類・中道下遺跡					古墳：溝・土坑。古代：溝。	『下大類・中道下遺跡』2010 高崎市教育委員会
32	下大類蟹沢遺跡					古墳：古墳・集落。古代：集落。	『下大類蟹沢遺跡』1993 高崎市遺跡調査会
33	上滝五反畑遺跡		○		○	近世：As-A 下水田。	『上滝五反畑遺跡』1999 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
34	宮地中田遺跡				○	-	『宮地中田遺跡』1997 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
35	公田池尻遺跡		○	○	○	縄文：土坑。弥生：用水路跡。古墳：住居跡。 古代：住居跡。中世：居館跡。	『鶴島川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡』1997 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
36	亀里平塚遺跡		○		○	中世：水田跡。	
37	横手宮田遺跡	○	○		○	中世：水田跡。	
38	横手早稲田遺跡		○	○	○	古墳：周溝状遺構、前期の住居跡。 中世：水田跡。	『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
39	横手南川端遺跡		○			古墳：住居跡・祭祀跡・井戸。平安：溝。 中近世：泥流下水田跡・屋敷跡・灰掻き穴。	『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
40	横手湯田・ 横手湯田 II ～ VI 遺跡		○	○	○	古墳：周溝状遺構・住居跡・周溝墓。 中世：居館。近世：環濠屋敷・As-A 復旧痕。	『横手湯田 II 遺跡・西田 II 遺跡』1998 『横手湯田 III 遺跡・徳丸仲田 II 遺跡・西善尺司 II 遺跡・下増田越渡 III 遺跡』1998 『横手湯田 IV 遺跡』1998 『横手湯田 V 遺跡・徳丸仲田 IV 遺跡』2001 『横手湯田 VI 遺跡』2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
41	横手宮田 II 遺跡				○	-	『横手宮田 II 遺跡』2004 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
42	亀里銭面遺・亀里銭面 II 遺跡				○	中近世：掘立柱建物跡・井戸・土坑・溝。	『亀里銭面遺跡』2001 『亀里銭面 II 遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
43	亀里油免 II 遺跡				○	中世：溝。	『亀里油免 II 遺跡』2005 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
44	鶴光路練引遺跡				○	-	『鶴光路練引遺跡』1997 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
45	村中遺跡	○			○	中世：居館。近世：屋敷・墓塚。	『西田遺跡・村中遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
46	村中 II 遺跡					平安：溝・土坑	『村中 II 遺跡・西田 V 遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
47	西田遺跡	○	○		○	平安：住居跡。近世：墓塚	『西田遺跡・村中遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
48	西田 II 遺跡				○	平安：住居跡。	『横手湯田 II 遺跡・西田 II 遺跡』1998 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
49	西田 III 遺跡					縄文：草創期の有舌尖頭器。古墳：土坑・溝。 平安：掘立柱建物跡。中近世：溝。	『西田 III 遺跡』1999 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
50	西田 V 遺跡					平安：溝・土坑。	『村中 II 遺跡・西田 V 遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
51	西田 VI 遺跡				○	平安：住居跡・溝。中近世：溝。	『西田 VI 遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
52	下阿内町町細遺跡		○		○	古墳：円形建物跡・土器集積遺構・溝。 近世：As-A 灰掻き穴。	『下阿内町町細遺跡・下阿内前田遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
53	南部拠点地区遺跡群 No. 1 ～ 11		○		○	古墳：周溝状遺構・井戸・溝。平安：溝。 中近世：掘立柱建物・溝・井戸・水田。 近代：焼夷弾。	2009 『南部拠点遺跡群 No. 1』 『南部拠点遺跡群 No. 2』、2010 『南部拠点遺跡群 No. 3』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団。2010 『南部拠点遺跡群 No. 4』 『南部拠点遺跡群 No. 5』、2011 『南部拠点遺跡群 No. 6』 2014 『南部拠点遺跡群 No. 7』 『南部拠点遺跡群 No. 8』 『南部拠点遺跡群 No. 9』 『南部拠点遺跡群 No.10』 『南部拠点遺跡群 No.11』 前橋市教育委員会

No	古墳名	築造年代	古墳概要
ア	元島名将軍塚古墳	4 c	前方後方墳・粘土椽・四獣鏡・碧玉製石剣・大刀・鏡・二重口縁壺
イ	前山古墳	6 c 末～7 c 初	前方後円墳・両袖型横穴式石室・馬具類
ウ	浅間神社古墳	-	前方後円墳・後円部一部残存

No	名称	存続年代	築・在城者名	遺構・遺物	備考
a	萩原城	16 世紀	萩原地衆	堀・土居・戸口	複郭城。
b	元島名城	15 世紀	島名伊豆守	堀・土居・戸口・根小屋・板碑	昭和 51・53 年一部発掘調査。
		16 世紀	長井豊前守政実		
c	新堀城	16 世紀	和田正盛	-	利根川氾濫により消滅。
d	阿内古城	文明九年 (1477)	上杉顕定	-	-
e	元島名環濠遺構群	-	島名氏	桜屋敷等	昭和 53 年一部発掘調査。
f	横手環濠遺構群	-	-	-	防水の小型遺構。近世のものか。
g	三公田環濠遺跡群	-	-	堀	-
h	鶴光路亀里環濠遺構群	-	-	堀・14ヶ所の環濠遺構	-
i	元島名内出	16 世紀	阿久沢氏	堀・土居・戸口	付近に小環濠遺構がある。
j	降照屋敷	16 世紀	高井氏	堀・土橋	-
k	大類寄居	-	柴崎地衆	堀・土居・戸口	近年破壊。根岸氏居住。
l	江原源左衛門屋敷	16 世紀末	江原源左衛門	堀	-
m	新居屋敷	-	新居喜左右衛門	-	-
n	田口屋敷	16 世紀	田口業祐	堀・土居・板碑	-
o	前田屋敷	-	-	2 重の堀	-

第3章 調査の方法と経過

今回の発掘調査は、高崎市教育委員会による試掘調査の結果に基づき、現状保存の不可能な部分（1,343㎡）を対象として行った。遺構確認面までの掘削は0.7バックフォードと10tダンプを使用した。試掘調査から2面の



第4図 調査区設定図 (S = 1/2,500)

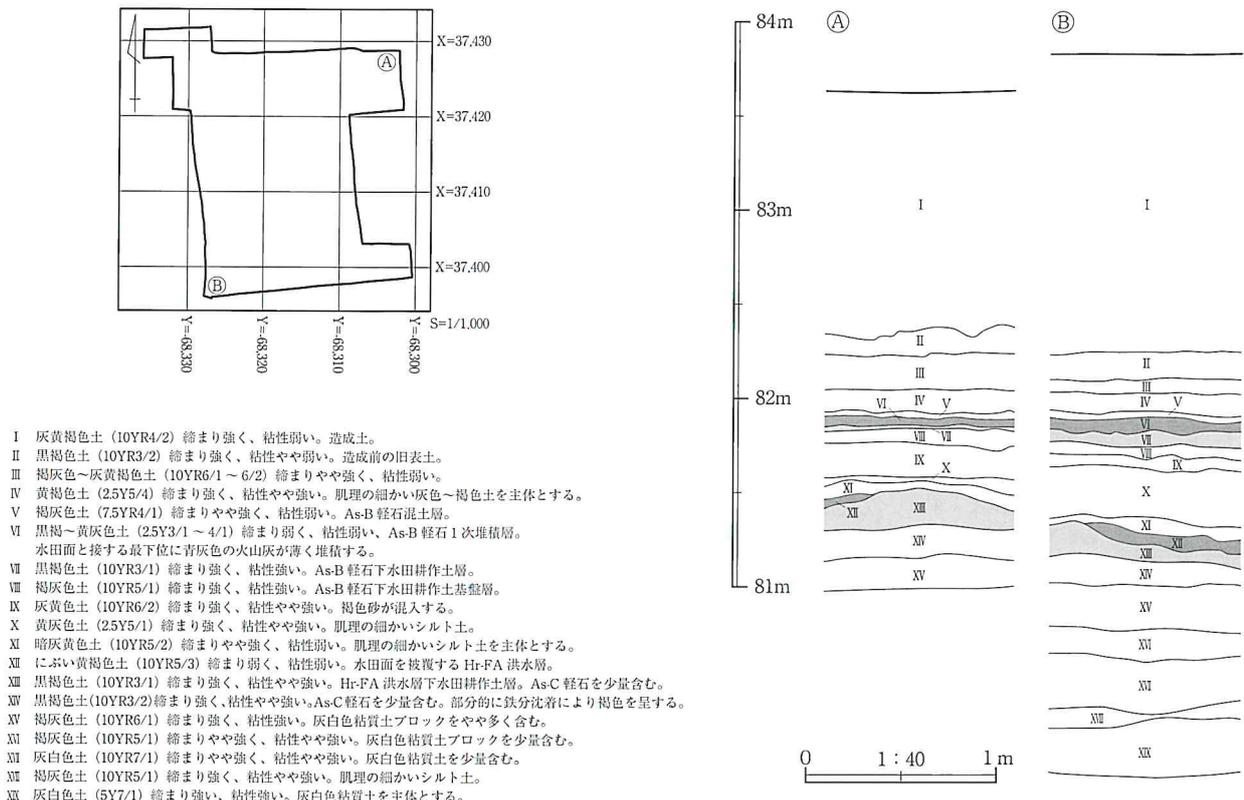
遺構面が想定され一部掘削深度が3m近くなること、季節的に日々の凍結・融解による崩落の可能性が高いことから、調査区壁は法面処理とした。遺構検出後に遺構掘り下げ、遺構精査、測量・写真撮影の手順で実施した。各遺構面調査終了後、次の遺構面への掘り下げ、調査を行った。

調査記録の座標は、世界測地系に基づく平面直角座標第IX系を使用している。図面作成はトータルステーション・電子平板を用いての測量・編集を行ない、水田面の平面図には航空写真測量を併用した。記録写真は35mmモノクロ・リバーサル、デジタルカメラの3種類を用いて撮影し、水田面の全景撮影についてはラジコンヘリコプターでの撮影を実施した。

発掘調査は平成27年1月5日より調査準備、1月13日から表土掘削を始めAs-B軽石層の検出を行った。同時に畦畔の検出と水田面の調査を行い、2月3日に第1面の全景撮影を実施した。2月5日から第2面目への掘削、Hr-FA洪水層下水田面の調査を進め、2月20日に全景撮影を行った。第2面目調査終了後、下層の遺構確認を実施したところ周溝状の遺構を検出し、調査を行った。3月15日までに撤収作業を含めた現地での調査を全て終了し、3月16日より出土遺物・図面・写真等の整理作業および報告書作成を実施した。

第4章 基本層序

各壁面での土層観察から、傾斜は見られるものの堆積状況は概ね同一である。北東隅と南東隅にそれぞれ深堀を入れて、詳細な観察を行った。As-B軽石層の間には中・近世と思われる溝・土坑等が確認され、断面観察からではあるが、調査区北東側を中心に天明3年の浅間山噴火に伴うAs-A軽石復旧坑も見られる。As-B軽石下水田以下は砂質土を中心とする洪水層が堆積しており、第2面のHr-FA洪水層下水田までの間には周辺の遺跡で確認されているHr-FP洪水層下水田は検出しなかった。Hr-FA洪水層下水田面は周辺遺跡と同様にAs-C軽石を含む黒褐色土を耕作基盤層としており（XIII層）、この層の下から周溝状遺構を中心とする遺構を検出している。



第5図 基本層序

第5章 検出された遺構・遺物

1 第3面（As-C軽石混土層）

(1) 調査の概要（第6図、PL.1）

第2面のHr-FA洪水層下水田面の調査時において畦畔の巡らない範囲が2箇所見られ、また畦畔断ち割り時に溝状の土層堆積を確認したため、最終的な遺構の有無を確認するため人力にて面的な拡張を行った。結果的に5条の周溝状遺構と、1基の埋甕、5基の土坑を検出し、第3面として調査を実施した。周溝状遺構については萩原・西横手遺跡群で確認されている周溝墓の可能性はあるが、今回の発掘調査では明確な主体部は検出されず、また出土遺物の構成から、近年指摘されている「周溝をもつ建物」になることも考えられる。

なお1号周溝状遺構における、調査区壁際のトレンチ下層には溝状の落ち込みが見られた。調査の都合上、トレンチ確認のみであるが、本遺構以前の周溝、もしくは周辺遺跡で見られる古墳時代前期以前の自然流路が北西から南西方向に走行しているものと思われる。

(2) 周溝状遺構

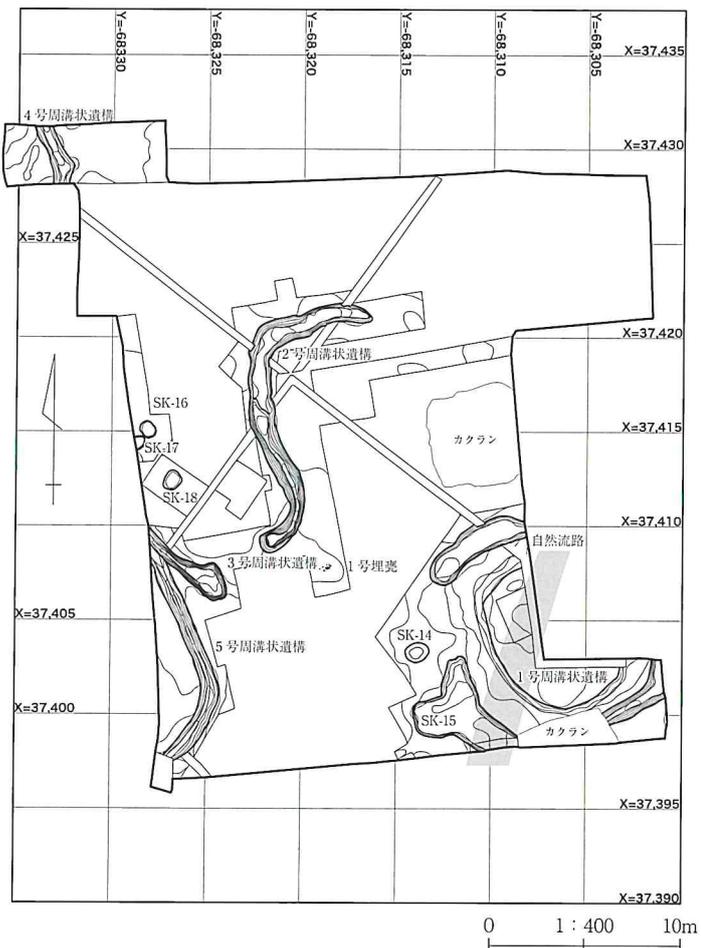
1号周溝状遺構（第7・8図、第2表、PL.2）

位置 X = 37,398~37,410、Y = -68,309~-68,316 重複 SK-15と重複し、断面観察から本遺構が先行する。

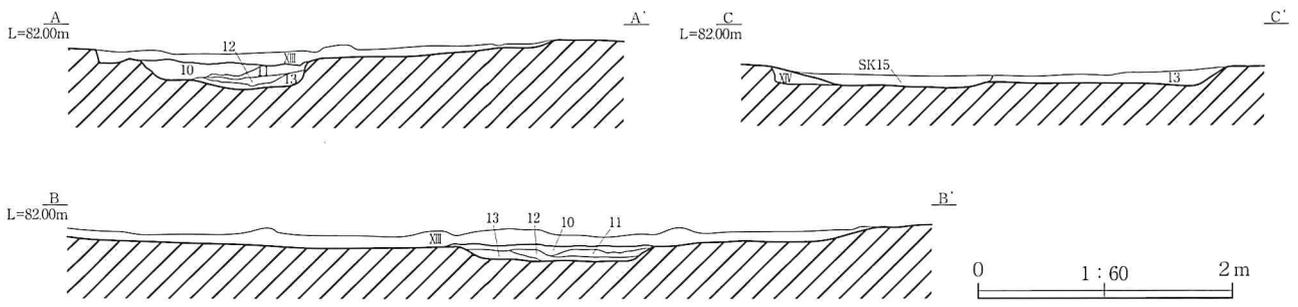
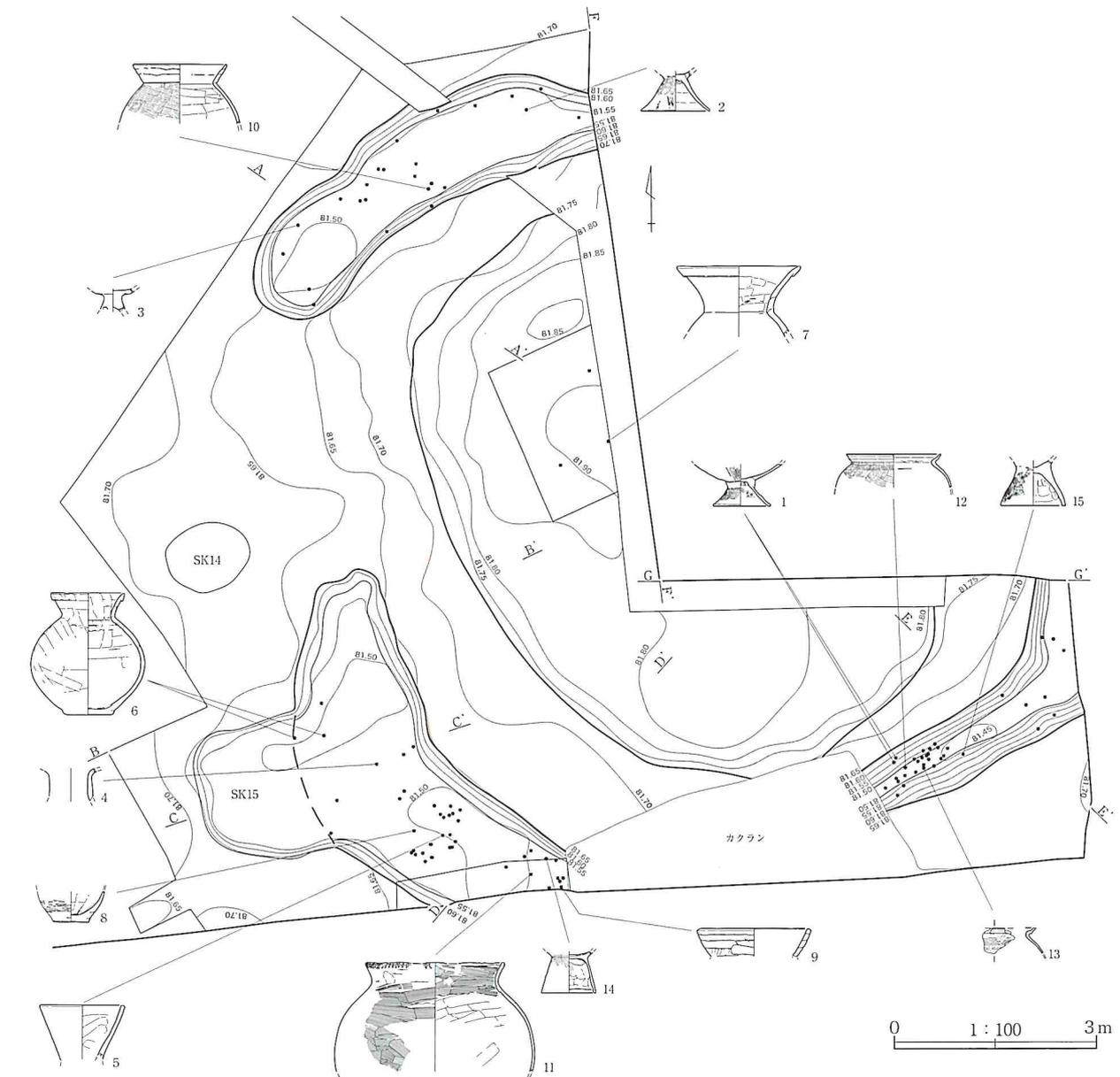
規模 隅丸長方形に巡り、北西部で陸橋状の未掘部が残る。検出長東西10.93m・南北12.76m、幅上端1.02~3.18m、深さ0.27mを測り、断面台形状を呈する。覆土 周溝覆土はAs-C軽石を少量含む暗褐色土・黒褐色土を主体とする。調査区壁面では構築土と思われる堆積および被覆するHr-FA洪水層の盛り上がりが見られるが、上部は後世の洪水層により削平されている。出土遺物 樽式土器片を少量含むが、S字口縁甕を主体とする古墳時代前期の遺物が中心として出土している。高坏・器台・埴・壺・甕を図示しており、S字口縁甕は胴上部および内面に横方向のハケメが見られ古相を示す。所見 出土遺物および覆土の堆積状況から、古墳時代前期前半の遺構と思われる。

2号周溝状遺構（第9・10図、第2表、PL.2）

位置 X = 37,408~37,422、Y = -68,316~-68,323 重複 3号周溝状遺構と重複する。出土遺物の傾向から本遺構が後出する可能性が考えられる。規模 方形を指向するが、東~南側は掘り込みを検出しておらず「状」になる。南西側で3号周溝状遺構と重複する。検出長東西6.41m・南北6.61m、幅上端1.08m、深さ0.38mを測り、断面弧状を呈する。覆



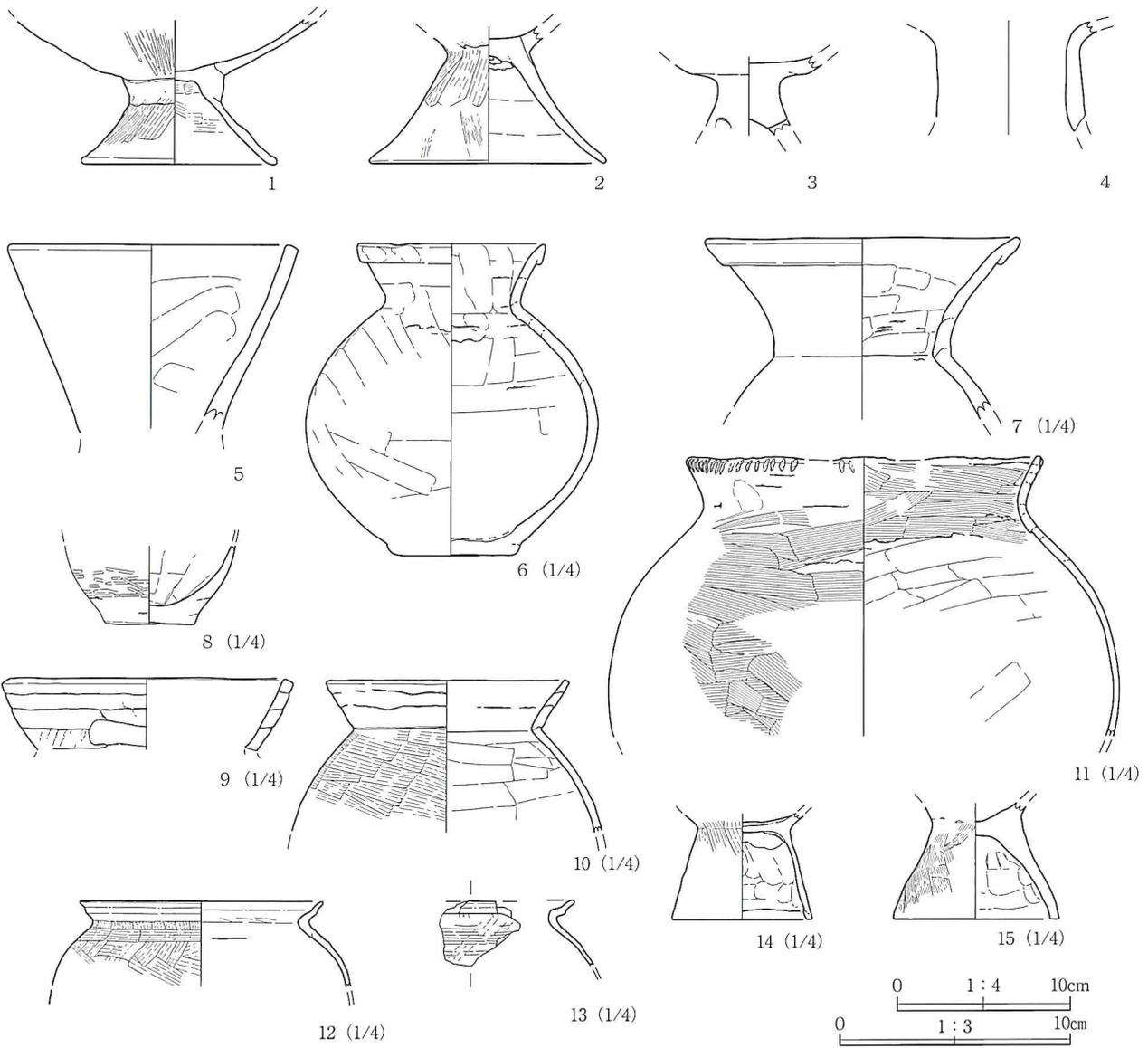
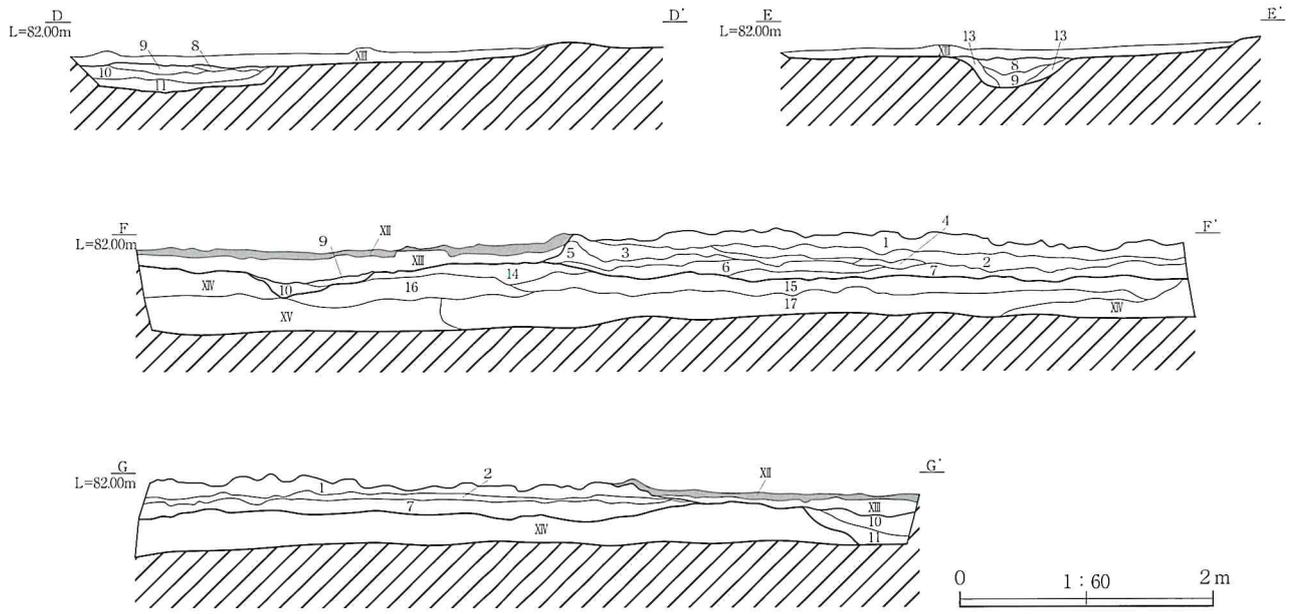
第6図 第3面 全体図



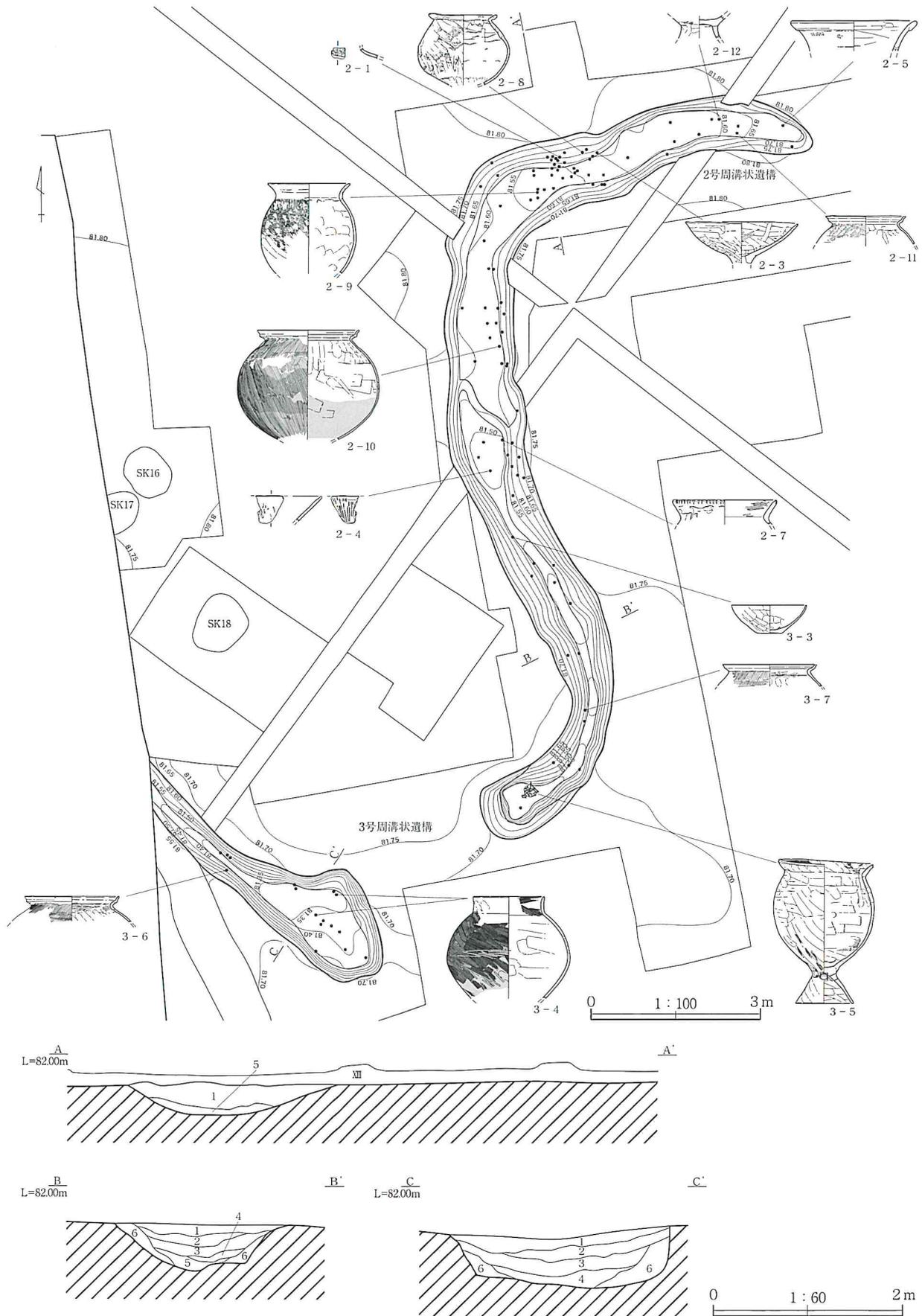
1号周溝状遺構 SPA～SPG

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 黒色土 (10YR2/1) 締まり強く、粘性やや強い。As-C軽石を少量含む。構築土か。</p> <p>2 暗褐色土 (10YR3/3) 締まりやや強く、粘性弱い。As-C軽石を少量含む。構築土か。</p> <p>3 暗褐色土 (10YR3/4) 締まりやや強く、粘性やや強い。含有物少ない砂質シルト。構築土か。</p> <p>4 褐色土 (10YR4/1) 締まり弱く、粘性弱い。As-C軽石を中量含む。構築土か。</p> <p>5 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締まり弱く、粘性弱い。As-C軽石を中量含む。構築土か。</p> <p>6 暗褐色土 (10YR3/3) 締まり弱く、粘性弱い。にぶい黄褐色土との混土層。構築土か。</p> <p>7 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まりやや強く、粘性弱い。黒褐色土との混土層。構築土か。</p> <p>8 黒褐色土 (10YR3/2) 締まりやや強く、粘性弱い。As-C軽石を少量含む。周溝覆土。</p> <p>9 黒褐色土 (10YR3/1) 締まりやや強く、粘性やや強い。As-C軽石を少量含む。周溝覆土。</p> <p>10 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。As-C軽石を中量含む。周溝覆土。</p> | <p>11 黒褐色土 (10YR3/1) 締まり弱く、粘性弱い。As-C軽石を少量含む。周溝覆土。</p> <p>12 暗褐色土 (10YR3/3) 締まり弱く、粘性弱い。As-C軽石を極少量含む。周溝覆土。</p> <p>13 暗褐色土 (10YR3/4) 締まり強く、粘性やや弱い。As-C軽石を少量含む。周溝覆土。</p> <p>14 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締まりやや強く、粘性弱い。含有物少ない砂質シルト。下層覆土。</p> <p>15 黒褐色土 (10YR3/2) 締まりやや強く、粘性弱い。白色小ブロック少量含む。下層覆土。</p> <p>16 黒褐色土 (10YR3/1) 締まりやや強く、粘性やや強い。含有物少ない砂質シルト。下層覆土。</p> <p>17 黒褐色土 (10YR3/2) 締まりやや強い、粘性弱い。白色小ブロック少量含む。下層覆土。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

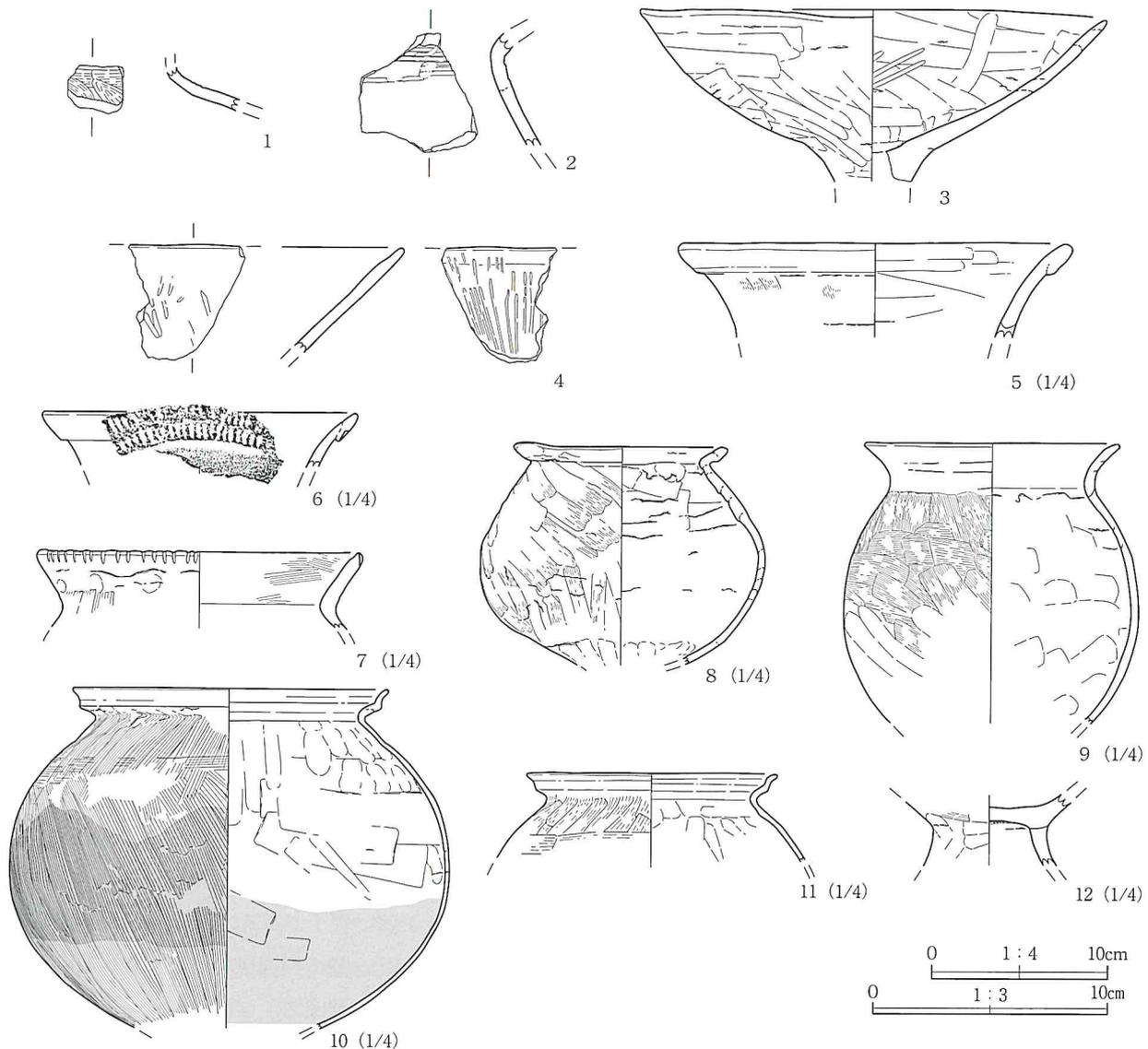
第7図 1号周溝状遺構平面・断面図



第8图 1号周溝状遺構断面図、出土遺物



第9図 2・3号周溝状遺構平面・断面図



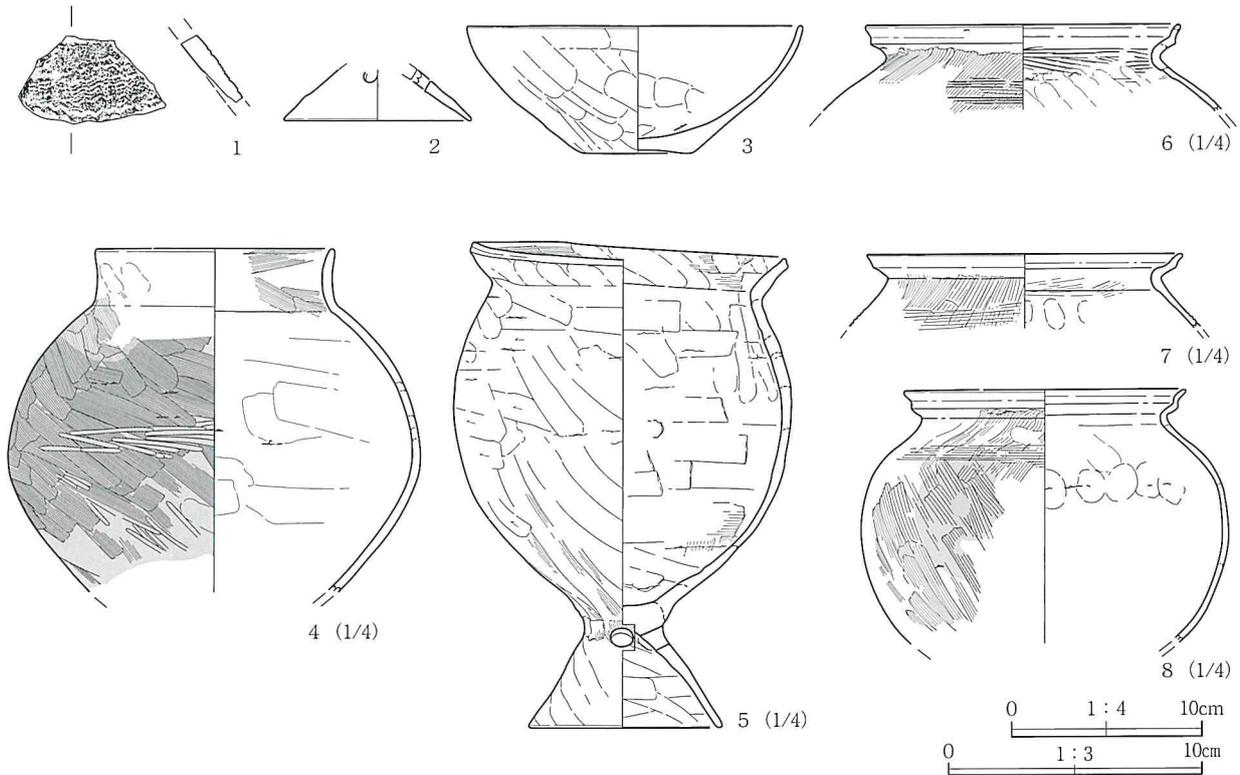
第10図 2号周溝状遺構出土遺物

土 1号周溝状遺構と同様に、As-C軽石を少量含む暗褐色土・黒褐色土を主体とする。湛水の痕跡は認められない。出土遺物 樽式土器片を含むが、S字口縁甕を主体とする。樽式土器、土師器高坏・壺・甕を図示。S字口縁甕は内面ハケメが消失し、1号周溝状遺構出土遺物より後出する。所見 出土遺物および覆土の堆積状況から、古墳時代前期前半～中葉の遺構と思われる。

3号周溝状遺構 (第9・11図、第2表、PL.2)

位置 X = 37,406～37,417、Y = -68,320～-68,328 重複 2号周溝状遺構と重複し、出土遺物の傾向から本遺構が先行するものと考えられる。規模 隅丸長方形を呈し南西部で陸橋状の未掘部が残るが、北側では掘り込みが巡らない。検出長東西8.61m・南北6.04m、幅上端0.56～1.07m、深さ0.56mを測り、断面台形状を呈する。

覆土 As-C軽石を少量含む暗褐色土・黒褐色土を主体とする。2号周溝状遺構よりAs-C軽石の含有量がやや多い。湛水の痕跡は認められない。出土遺物 樽式土器、土師器が出土しており、樽式土器甕、土師器高坏・鉢・甕の8点を図示。(4)の台付甕は完形であり、台部に3つの円孔が穿たれる。(6)～(8)はS字口縁甕で、(6)・(7)は内面に横方向のハケメが見られる。所見 出土遺物および覆土の堆積状況から、古墳時代前期前半の遺構と思われる。

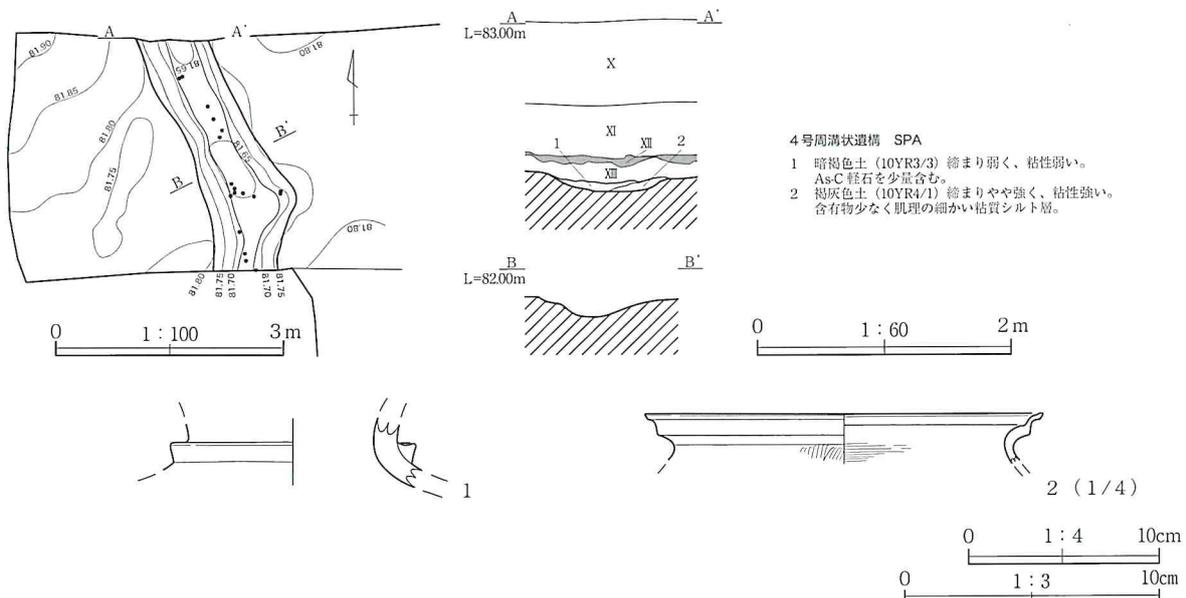


第11図 3号周溝状遺構出土遺物

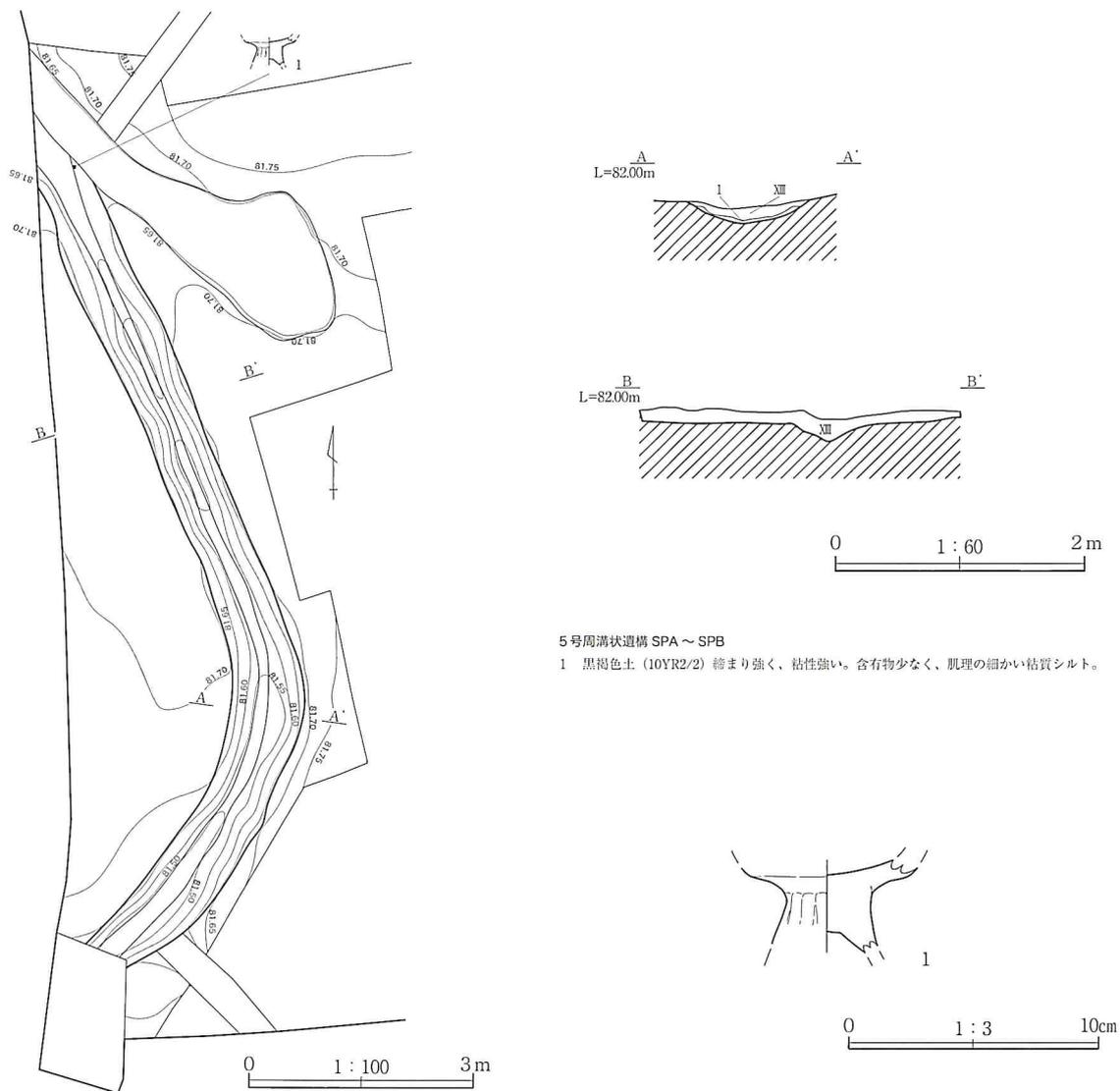
4号周溝状遺構 (第12図、第2表、PL.2)

位置 X = 37,428~37,431、Y = -68,332~-68,334 規模 調査区北西隅に検出しており、大部分は調査区外となる。方形を指向していると考えられ、検出長南北3.05m、幅上端1.14m、深さ0.13mを測り、断面弧状を呈する。

覆土 As-C軽石を少量含む暗褐色土を主体とし、全体的にやや粘性が強い覆土である。出土遺物 土師器高坏・器台・壺・甕が出土しているが、小破片が多数である。壺と甕を図示。壺は頸部片で、断面三角の貼付け突帯が巡る。S字口縁甕は内面に横方向のハケメが施されており、やや古相を呈する。所見 出土遺物および覆土の堆積状況から、古墳時代前期前半~中葉頃の遺構と思われる。



第12図 4号周溝状遺構平面・断面図、出土遺物



第13図 5号周溝状遺構平面・断面図、出土遺物

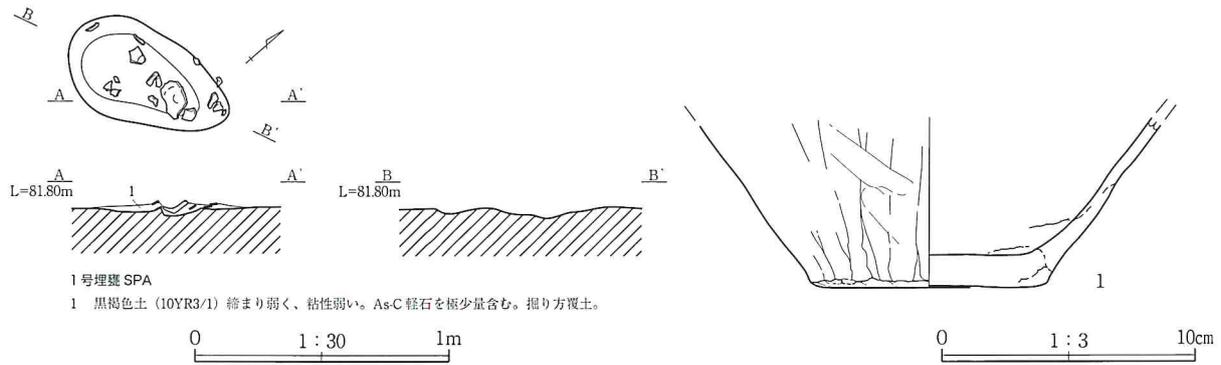
5号周溝状遺構 (第13図、第2表、PL.2)

位置 X = 37,397~37,409、Y = -68,324~-68,328 規模 調査区南西隅に検出しており、大部分は調査区外となる。上層のHr-FA洪水層下水田面において溝状の窪みを確認できる。方形および隅丸方形の平面形で、検出長南北8.52m・東西3.89m、幅上端0.81m、深さ0.29mを測り、断面弧状~V字状を呈する。覆土 上面の耕作土 (XIII層) であるAs-C軽石を含んだ黒色粘質土を主体とし、キメの細かい覆土である。出土遺物 S字口縁甕を中心とした遺物が出土しているが、多数が小破片であり、図示し得たのは土師器高坏のみである。所見 出土遺物および覆土の堆積状況から、他の周溝状遺構と同様に、古墳時代前期前半~中葉頃の遺構と思われる。

(3) 埋葬

1号埋甕 (第14図、第2表、PL.3)

位置 X = 37,407~37,408、Y = -68,318~-68,319 規模 掘り方の長軸0.68m、短軸0.37m、深さ0.05mを測り、平面形状は楕円形、断面形状は弧状を呈する。甕の上半部は欠損するが、検出した底部については元位置を保っているものと思われる。覆土 As-C軽石を少量含む黒褐色土を主体とする。所見 出土遺物および覆土の状態から、本遺構の時期は古墳時代前期と考えられる。



第14図 1号埋葬平面・断面図、出土遺物

(4) 土坑

SK14 (第15図、PL.3)

位置 X = 37,402~37,403、Y = -68,313~-68,314 規模 長軸1.25m、短軸1.05m、深さ0.20mを測り、平面形状は楕円形、断面形状は弧状を呈する。覆土 As-C軽石を少量含む黒褐色土を主体とする。出土遺物 土師器甕が9点出土しており、うち2点はS字口縁甕であるが、いずれも小破片で図示には至らず。所見 出土遺物および覆土の状態から、本遺構の時期は古墳時代前期と考えられる。

SK15 (第15図、第2表、PL.3)

位置 X = 37,398~37,403、Y = -68,303~-68,314 重複 1周溝状遺構と重複し、断面観察から本遺構が港出する。規模 長軸5.70m、短軸4.60m、深さ0.18mを測り、平面形状方形、断面形状台形を呈する。覆土 As-C軽石をやや多く含む黒褐色土を主体とする。出土遺物 土師器高坏・甕を中心に6点出土しており、土師器高坏を図示。外面に赤彩が見られ、3個の円孔が穿たれている。所見 重複関係および出土遺物から、本遺構の時期は古墳時代前期と考えられるが1号周溝状遺構より新しい。

SK16 (第15図、PL.3)

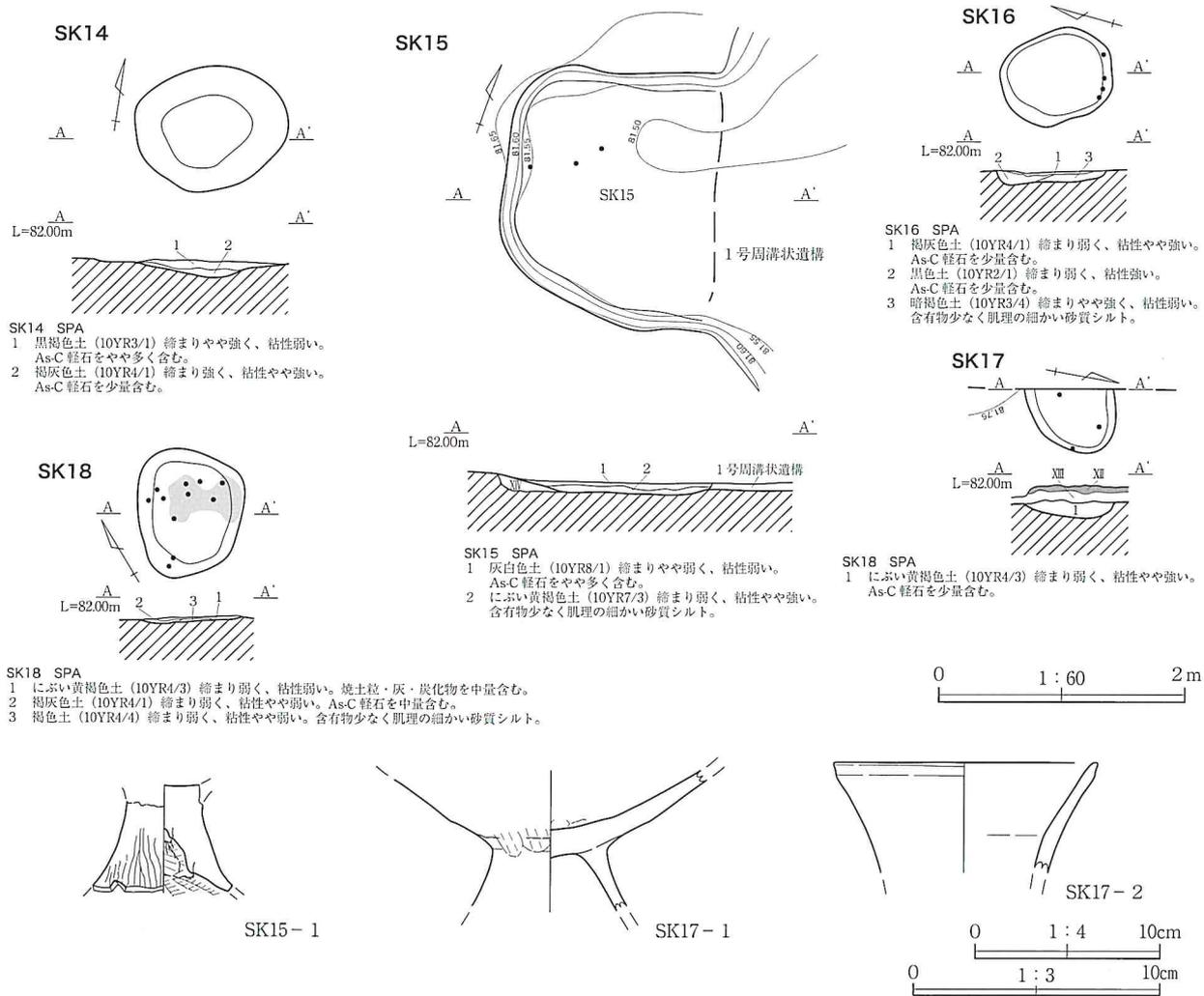
位置 X = 37,414~37,415、Y = -68,327~-68,328 規模 長軸0.92m、短軸0.75m、深さ0.08mを測り、平面形状楕円形、断面形状台形を呈する。覆土 As-C軽石を少量含む黒褐色土を主体とする。出土遺物 土師器甕が5点出土するが、いずれも小破片であり図示には至らず。所見 出土遺物および覆土の状態から、本遺構の時期は他遺構と同様に古墳時代前期に収まるものと思われる。

SK17 (第15図、第2表、PL.3)

位置 X = 37,413~37,414、Y = -68,328 規模 長軸0.74m、短軸0.54m、深さ0.09mを測り、平面形状楕円形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-C軽石を少量含む黒褐色土を主体とする。出土遺物 土師器高坏・埴・甕が各1点出土し、高坏・埴を図示。所見 出土遺物および覆土の状態から、古墳時代前期と思われる。

SK18 (第15図、PL.3)

位置 X = 37,326~37,327、Y = -68,321~-68,322 規模 長軸1.07m、短軸0.88m、深さ0.03mを測り、平面形状長方形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-C軽石を少量含む黒褐色土を主体とする。上層では灰・焼土を多く含有し、少量の炭化物も見られる。出土遺物 S字口縁甕を中心に土師器14点が出土しているが、図示に至らず。所見 出土遺物および覆土の状態から、古墳時代前期と思われる。



第15図 SK14～18平面・断面図、出土遺物

第2表 第3面出土遺物観察表

1号周溝状遺構

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 高坏	-	[8.4]	(6.4)	細砂	酸化 良好	にぶい 黄褐色	外面：ミガキ、脚部ハケメ。 内面：ミガキか、脚部ハケメ後ヨコナデ。	体～脚部残存。 内外面赤彩。
2	土師器 高坏	-	[10.1]	(5.9)	白色粒、雲母	良好	にぶい 黄褐色	外面：ハケメ後ミガキ。 内面：ヨコナデ。	脚部1/2残存。 赤彩あり。
3	土師器 高坏	-	-	(3.4)	白色粒、石英	良好	橙色	外面：摩滅。 内面：摩滅。	底部～脚上部残存。 赤彩あり。脚部穿孔3ヶ所。
4	土師器 器台	-	-	(4.8)	白色粒、石 英、雲母	軟質	橙色	外面：摩滅。 内面：摩滅。	台上部残存。
5	土師器 埴	12.0	-	(8.1)	微細砂	酸化 良好	にぶい 黄褐色	外面：摩滅。 内面：ナデ。	口縁部1/4残存。
6	土師器 壺	[10.8]	7.2	18.3	白・黒・茶色 粒	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。底部ヘラナデ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデおよび丁寧ナデ。	1/2残存。 折り返し口縁。
7	土師器 壺	[18.0]	-	(10.6)	微細砂	酸化 良好	灰白色	外面：摩滅。 内面：ヘラナデ。	口縁～胴上部1/5残存。
8	土師器 壺	-	5.2	(4.1)	白色粒	良好	灰白色 褐色	外面：胴部ミガキ、底部エビナデ。 内面：胴部～底部ヘラナデ。	底部残存。
9	土師器 壺	[16.0]	-	(4.2)	白色粒、石 英、雲母	良好	にぶい 黄褐色	外面：輪積痕。 内面：ヨコナデ。	口縁部1/5残存。
10	土師器 壺	[13.6]	-	(8.9)	白色粒(軽 石)	酸化 良好	明赤褐色	外面：輪積痕、胴部ハケメ。 内面：ヘラナデ。	口縁～胴上部1/3残存。
11	土師器 壺	[20.4]	-	(16.3)	白・黒・茶色 粒	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ナデ。口唇部に刻み目が全周する。 内面：口縁部ヨコナデ後ハケナデ、以下ヘラナデ。	口縁部～胴部中位片。 外面煤付着。
12	土師器 S字壺	[14.1]	-	(5.0)	白色粒、石 英、雲母	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ハケメ、肩部ハケメ。 内面：口縁部～肩部ヨコナデ、頸部ハケメ。	口縁～肩部1/4残存。
13	土師器 S字壺	-	-	(3.8)	白色粒、石 英、長石	軟質	橙色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ハケメ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下エビナデ。	口縁部片。
14	土師器 S字壺	-	7.7	(6.2)	粗砂、軽石	酸化 良好	にぶい 黄褐色	外面：ハケメ。 内面：エビナデ。	台部残存。
15	土師器 台付壺	-	9.4	(6.3)	白色粒	酸化 良好	浅黄褐色	外面：ハケメ。 内面：ヘラナデ。	台部残存。

2号周溝状遺構

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	弥生 壺	-	-	(1.9)	白色粒、雲母	軟質	にぶい 黄褐色	外面：ハケメ。 内面：摩滅。	破片。
2	弥生 壺	-	-	(5.0)	白・黒・茶色 粒、黒雲母	良好	にぶい 黄褐色	外面：頸部ハケケズリ、以下ナデ。 内面：ナデ。	頸部片。
3	土師器 高坏	[20.0]	-	(7.5)	白・黒・茶色 粒	やや軟質	灰黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデおよびユビナデ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデおよびユビナデ。	坏部3/4残存。 外面ハズレている。
4	土師器 高坏	-	-	(4.5)	白色粒	良好	橙色	外面：ミガキ。 内面：ミガキ。	口縁部片。 内外面赤彩。
5	土師器 壺	[21.7]	-	(5.4)	白色粒、雲 母、石英	良好	橙色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ハケメ。 内面：ユビナデ。	口縁部1/8残存。
6	土師器 壺	[17.7]	-	(3.2)	白・黒・茶色 粒、黒雲母	良好	浅黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ。口縁部に2段の刺突文が全周する。 内面：口縁部ヨコナデ。	口縁部片。 刺突文は長さ8~10mm、幅1mmを測る。
7	土師器 甕	[18.2]	-	(4.4)	軽石	良好	にぶい 橙色	外面：ハケメ、口縁部刺突文。 内面：ハケメ。	口縁部1/3残存。
8	土師器 甕	[12.2]	-	(12.8)	白・黒・茶色 粒	やや軟質	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ハケケナデおよびナデ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデおよびナデ。	口縁~体部下位2/3残存。 全体に歪みが著しく粗雑。積層痕顕著。
9	土師器 甕	[14.4]	-	(16.1)	白色粒	良好	明黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。胴下部一部ユビナデ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ユビナデ。	口縁~胴部1/4残存。
10	土師器 S字甕	[18.0]	-	(19.6)	白・黒・茶色 粒、白雲母	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下斜位および横位ハケケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ後ユビナデ。	口縁~胴部下位1/3残存。 外・内面に煤附着。
11	土師器 S字甕	[14.2]	-	(5.0)	白・黒色粒	良好	灰白色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ハケメ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ユビナデ。	口縁部片。
12	土師器 甕	-	-	(4.0)	雲母	良好	灰白色	外面：胴下部ハケメ、台部ユビナデ。 内面：ユビナデ、台部ヘラ調整あり。	底部のみ残存。

3号周溝状遺構

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	弥生 壺	-	-	(2.5)	微細砂	良好	橙色	外面：磨滅状。 内面：ユビオサエ。	胴部片。
2	土師器 器台	-	[7.4]	(2.0)	軽石	良好	浅黄褐色	外面：摩滅。 内面：摩滅。	底部片。円孔あり。
3	土師器 鉢	[13.1]	4.2	5.1	微細砂	良好	灰黄色	外面：ナデ。 内面：ナデ。	1/2残存。
4	土師器 甕	[12.3]	-	(18.1)	白・黒色粒、 石英	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。胴部中~下位ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデおよびハケケナデ、以下ヘラナデおよびナデ。	口縁~胴部下位1/2残存。 肩部以下煤附着。
5	土師器 高台付甕	16.4	10.1	25.8	白・黒・茶色 粒	やや軟質	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下斜位・斜位ヘラナデ後ナデ。脚部ナデ。 内面：口縁部ナデ、以下ヘラナデおよびナデ。脚部ナデ。	脚部一部欠損。 直径約1.0cmの円孔3ヶ所。
6	土師器 S字甕	[16.3]	-	(4.6)	白・黒・茶色 粒	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下斜位および横位ハケケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ハケケナデ後ユビナデ。	口縁~肩部片。
7	土師器 S字甕	[16.4]	-	(3.9)	白色鉱物	良好	浅黄褐色	外面：タテハケ後ヨコハケ。 内面：ハケメ、ユビオサエ。	口縁部1/5残存。
8	土師器 S字甕	[14.8]	-	(13.4)	白・黒色粒、 チャート粗粒	良好	にぶい 黄褐色	外面：口縁部ヨコナデ、以下斜位および横位ハケケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ、以下ナデおよびユビオサエ。	口縁~胴部下位1/5残存。 胴部煤附着。

4号周溝状遺構

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 壺	-	-	(2.7)	軽石	良好	浅黄褐色	外面：摩滅。 内面：摩滅。	外面赤彩。
2	土師器 S字甕	[21.0]	-	(2.7)	微細砂	良好	浅黄褐色	外面：ヨコナデ、ハケメ。 内面：ハケメ。	口縁部片。

5号周溝状遺構

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 高坏	-	-	(3.7)	軽石	良好	浅黄褐色	外面：ミガキか。 内面：摩滅。	脚部片。

1号埋甕

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 甕	-	[12.2]	(9.0)	白・黒・茶色 粒	やや軟質	にぶい 黄褐色	外面：胴部下位縦位ヘラケズリおよびユビナデ。底部ヘラナデ。 内面：ヘラナデおよびユビナデ。	胴部下位~底部2/5残存。 外・内面に共に板状の剥落が顕著。

SK15

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 高坏	-	-	(4.5)	赤・白色粒、 雲母	酸化 良好	にぶい 橙色	外面：ミガキ。 内面：しほり痕、ハケメ。	外面赤彩。 円孔3ヶ所。

SK17

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 高坏	-	-	(5.7)	茶色粒	良好	灰白色	外面：底部ハケメ、台部摩滅。 内面：底部指圧痕、台部摩滅。	底部~台上部残存。 摩滅。
2	須恵器 卍	[10.6]	-	(4.5)	白・茶色粒	良好	橙色	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	口縁~頸部片。

2 第2面 (Hr-FA洪水層下水田)

(1) 水田 (第16~20図、第3・4表、PL.4)

被覆層と水田の残存状況 本調査で検出した水田面は、5世紀末から6世紀初頭の榛名山噴火を起因とするHr-FA洪水層に直接覆われている。部分的に上層からの攪乱を受けているものの、調査区全域で水田を検出しており、遺存状況は良好である。

水田域の地形 水田面は全体的に平坦に近いが、北から南に向けて緩やかにやや低くなっており、調査区北端と南端の比高差は0.13mとなっている。

畦畔の走向と区画 水田面は計4条の大型畦畔により区画される。北東から南西に走向する大型畦畔(①)は調査区北東隅から南西隅までやや蛇行しながら走向し、 $X=37,420 \cdot Y=-68,310$ 、 $X=37,404 \cdot Y=-68,317$ 、 $X=37,402 \cdot Y=-68,324$ 付近で北西から南西へ走行する大型畦畔(②~④)と交差する。最大幅は①1.12m、②1.16m、③1.01m、④0.88mを測り、断面形状は弧状~台形状を呈する。水田は所謂小区画水田で、走向軸は全体的に北西方向に振れている。基本的に北西に長軸を持つ長方形を呈する田面であるが、100・133・134・135・136のように他に比べて約2倍の面積を持つものや、方向性の違うものも認められる。これらは大型畦畔に沿った部分に見られ、それぞれ大型畦畔区画内での畦畔敷設時の田面調整に伴うものと思われる。

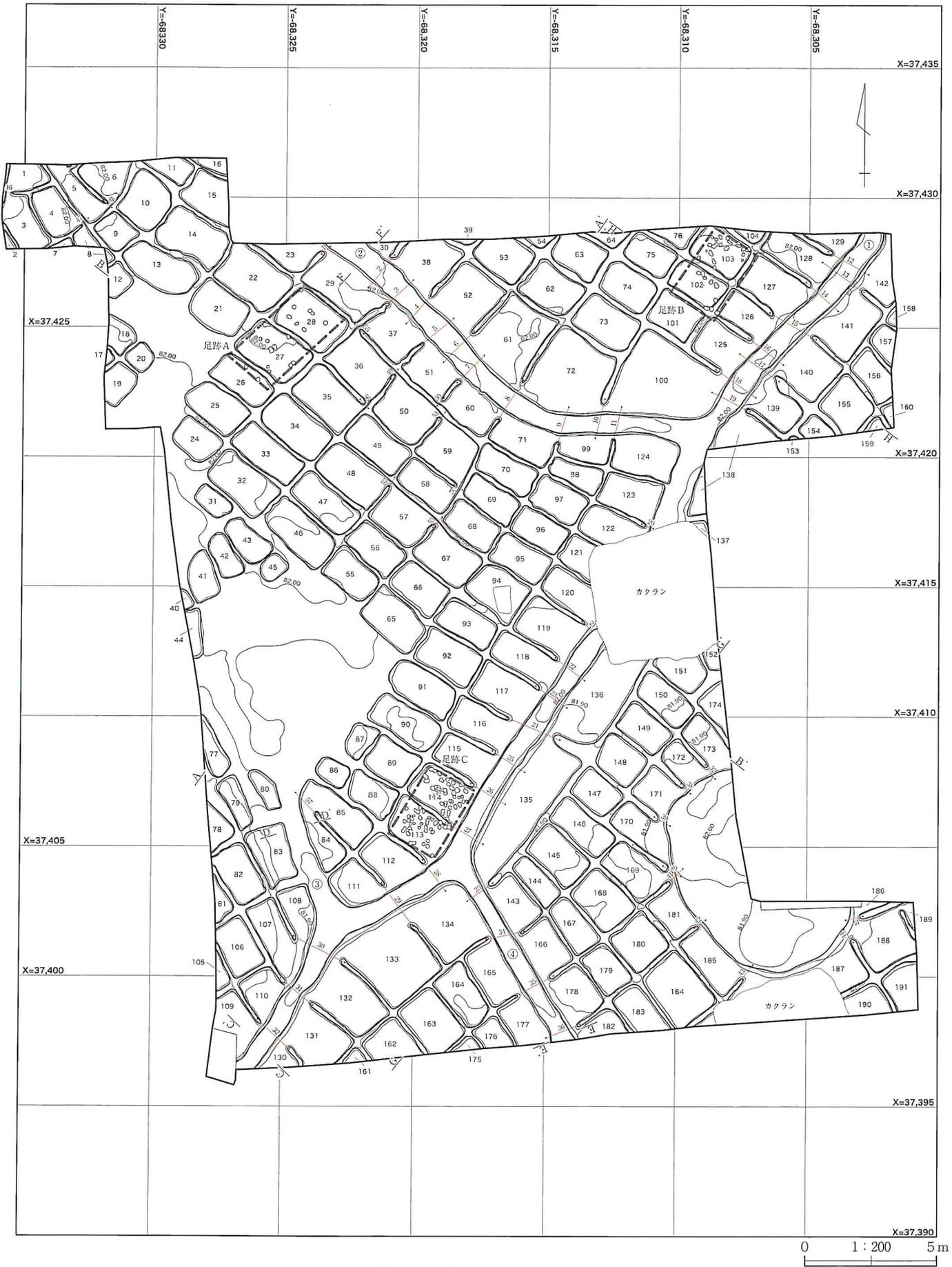
耕作土 As-C軽石を少量含む黒褐色粘質土(基本層序XIII層)で、層厚は6~12cmを測る。水田面表面は傾斜・足跡による若干の凹凸は見られるものの、全体的に滑らかな状態となっている。

取配水の方法 本調査区では直接田面に導水する施設は確認されていない。大型畦畔上での水口も調査区内での検出には至らなかった。大型畦畔に隣接する地点では、ほぼすべてが水口となっており、小区画内においては21箇所の水口を確認した。

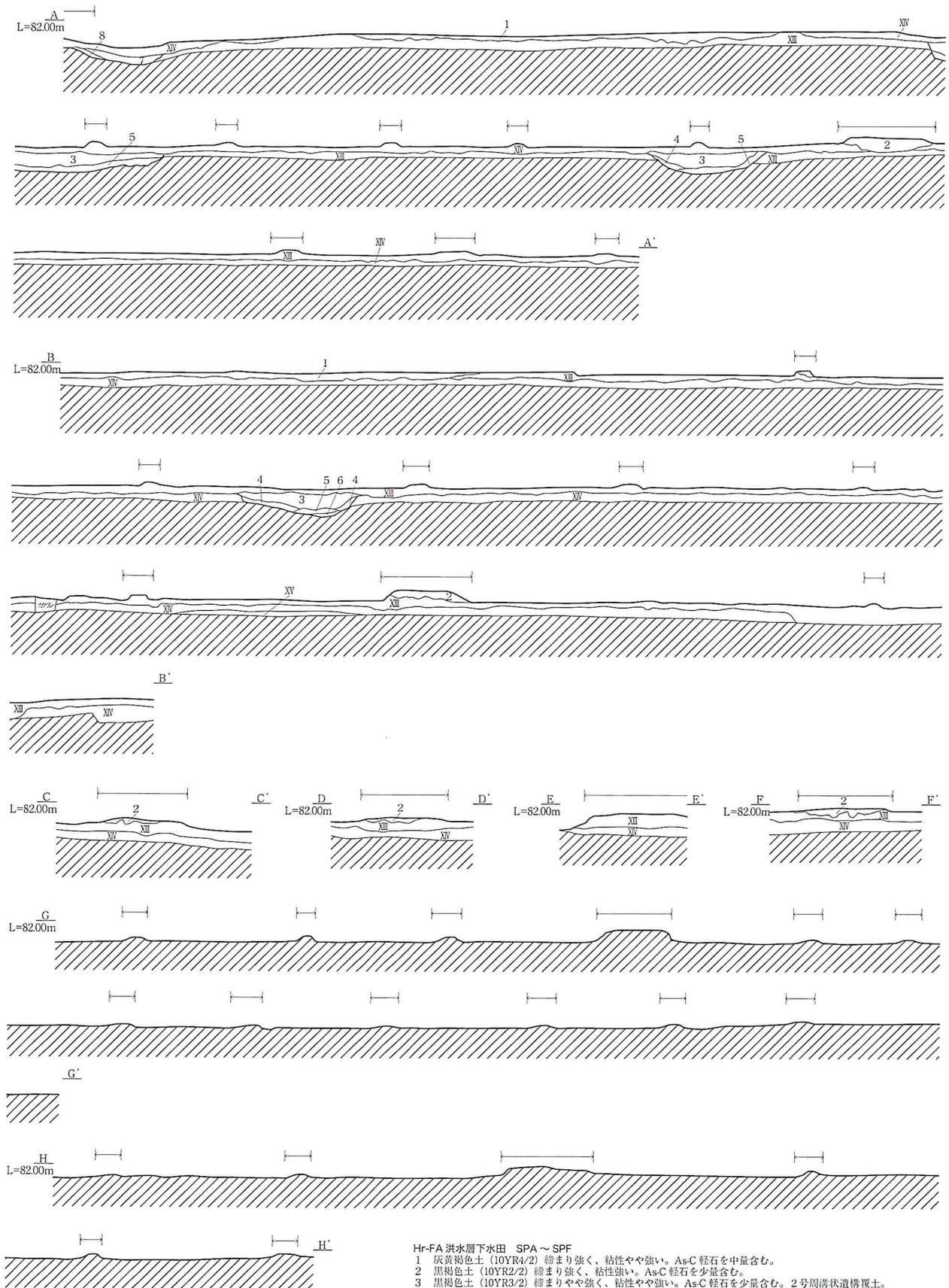
足跡 調査区全面に亘って多くの足跡を検出しており、特に集中的に遺存している3箇所で精査を行った。その平面形状から馬の足跡と考えられる。畦畔上・耕作面いずれにも足跡が認められ、走向方向も一定していないため耕作に伴うものかは不明である。人と考えられる足跡は検出していない。

出土遺物 水田面直上から土師器甕53点、畦畔断ち割りトレンチ内から土師器器台2点、土師器甕23点、計78点出土している。いずれも小破片であるが、このうち図示したのは器台(1)、のS字甕(2)、計2点である。S字甕は水田面直上、器台は畦畔断ち割りトレンチ内からの出土である。いずれも直接的に当遺構面との時期は異なり、洪水に伴う流れ込み若しくは耕作に際して第3面の遺物を巻き込んだものと考えられる。また、①・④大型畦畔の交点では角閃石安山岩の置石が出土している。

備考 ②大型畦畔北側と④大型畦畔南東側で、小区画水田が巡らない若干の微高地状の高まりが見られた。前項での周溝状遺構に伴う高まりであり、意図的に畦畔の敷設を回避していたものと思われる。しかしながら、周溝内にあたる箇所は5号周溝状遺構に見られるように、埋没後の窪み状になっている部分にも畦畔を巡らせており、対照的といえる。

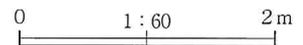


第16図 第2面 全体図

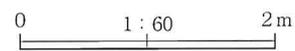
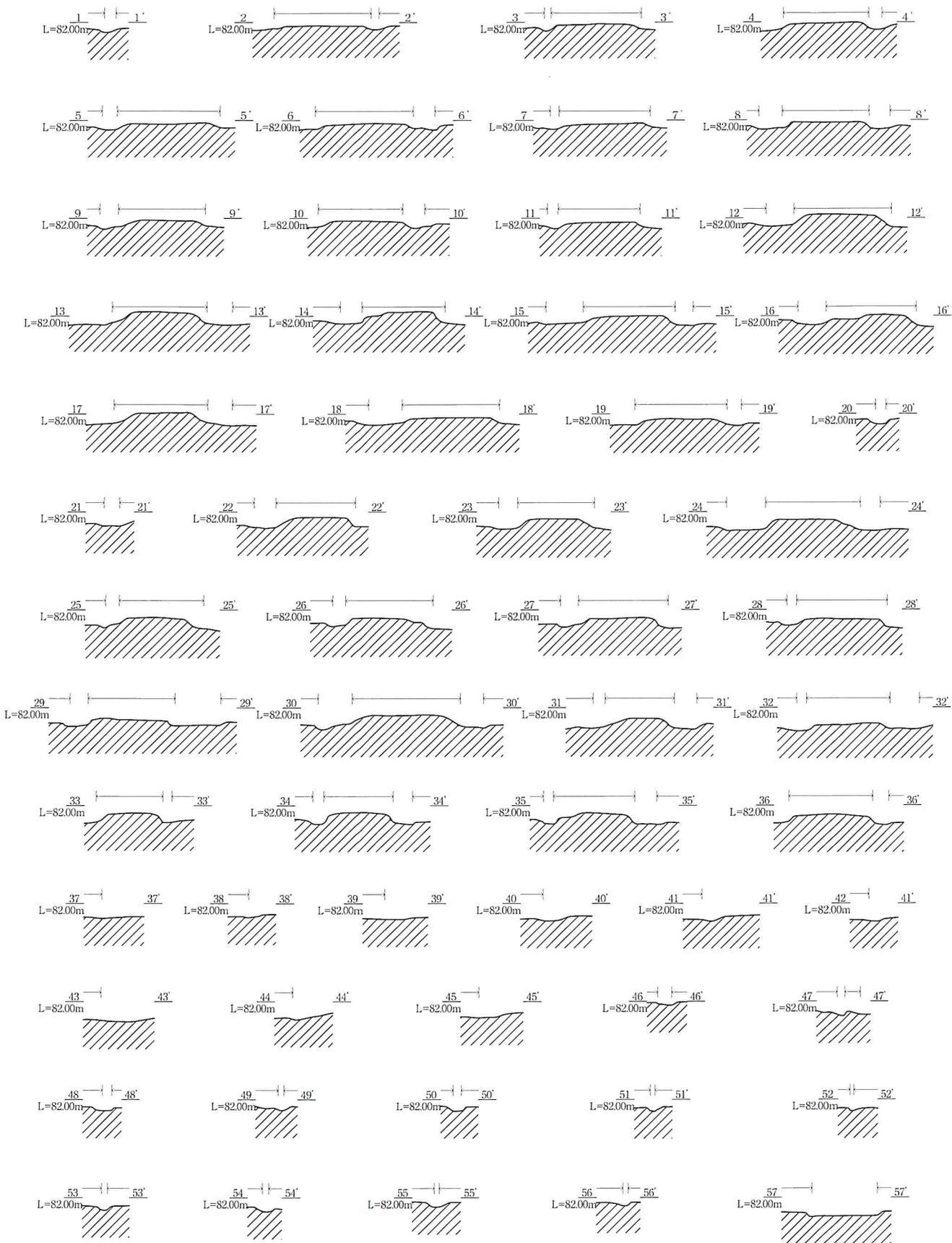


Hr-FA 洪水層下水田 SPA ~ SPF

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり強く、粘性やや強い。As-C 軽石を中量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) 締まり強く、粘性強い。As-C 軽石を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) 締まりやや強く、粘性やや強い。As-C 軽石を少量含む粘質シルト。2号周溝状遺構覆土。
- 4 黒褐色土 (10YR3/1) 締まりやや強く、粘性やや強い。As-C 軽石を少量含む粘質シルト。2号周溝状遺構覆土。
- 5 黒褐色土 (10YR2/2) 締まり強く、粘性強い。As-C 軽石を少量含む粘質シルト。2号周溝状遺構覆土。
- 6 褐色土 (10YR5/1) 締まり強く、粘性強い。含有物少なく肌理の細かい粘質シルト。3号周溝状遺構覆土。
- 7 黒色土 (10YR2/1) 締まり強く、粘性強い。含有物少なく肌理の細かい粘質シルト。3号周溝状遺構覆土。
- 8 黒褐色土 (10YR2/2) 締まり強く、粘性強い。As-C 軽石を少量含む粘質シルト。3号周溝状遺構覆土。



第 17 図 Hr-FA 洪水層下水田畦畔断面図



第 18 图 Hr-FA 洪水層下水田水口断面图

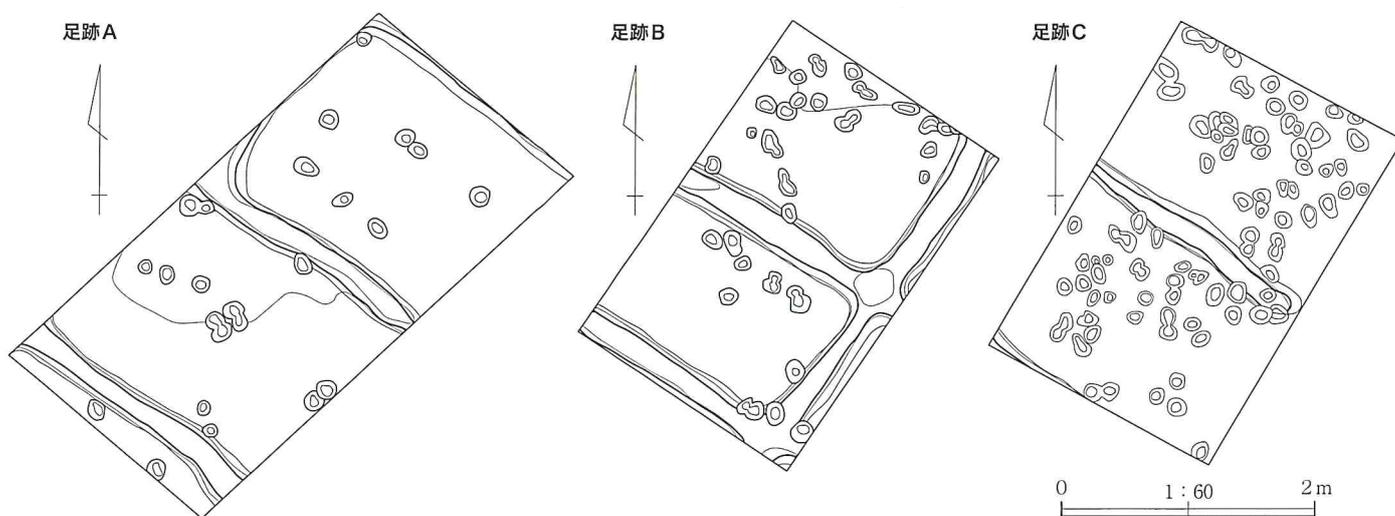
第3表 Hr-FA 洪水層下水田計測表

田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
1	X = 37.430 ~ 37.431 Y = - 68.334 ~ - 68.335	(1.33)	(1.66)	(1.10)	82.09	-	82.09	82.09	82.04	南西水口有り
2	X = 37.428 Y = - 68.335	(0.12)	(0.29)	(0.78)	-	-	-	-	82.02	
3	X = 37.428 ~ 37.430 Y = - 68.334 ~ - 68.335	(2.19)	1.22	2.32	82.07	82.04	82.03	82.01	82.01	北西水口有り
4	X = 37.428 ~ 37.430 Y = - 68.332 ~ - 68.334	2.01	1.35	1.96	82.04	82.04	82.02	82.01	81.97	南西水口有り
5	X = 37.429 ~ 37.431 Y = - 68.331 ~ - 68.334	(1.75)	1.09	(2.80)	-	82.01	81.98	81.96	81.99	南東水口有り
6	X = 37.429 ~ 37.431 Y = - 68.331 ~ - 68.332	(1.95)	(1.76)	1.82	82.00	-	82.00	81.99	82.01	南西水口有り
7	X = 37.428 Y = - 68.333 ~ - 68.334	(0.15)	(0.92)	(0.36)	-	-	-	-	-	
8	X = 37.427 ~ 37.428 Y = - 68.331 ~ - 68.333	(0.44)	(0.85)	1.71	81.97	-	-	-	82.01	北東水口有り
9	X = 37.427 ~ 37.429 Y = - 68.330 ~ - 68.332	1.33	1.12	1.35	81.98	82.00	82.02	82.03	82.02	
10	X = 37.428 ~ 37.430 Y = - 68.329 ~ - 68.331	2.86	1.89	1.83	82.01	82.03	82.03	82.02	82.04	
11	X = 37.430 ~ 37.431 Y = - 68.328 ~ - 68.330	(1.04)	(1.77)	0.93	82.01	82.03	82.03	82.04	82.04	
12	X = 37.426 ~ 37.427 Y = - 68.330 ~ - 68.331	(0.78)	1.05	1.07	82.03	82.02	82.01	82.01	82.02	
13	X = 37.426 ~ 37.428 Y = - 68.328 ~ - 68.331	3.18	1.42	2.90	82.03	82.04	82.03	82.02	82.02	
14	X = 37.427 ~ 37.429 Y = - 68.327 ~ - 68.329	3.57	1.65	2.63	82.03	82.02	82.02	82.02	82.02	
15	X = 37.428 ~ 37.431 Y = - 68.327 ~ - 68.329	(2.38)	1.52	(2.22)	82.03	82.03	82.03	82.03	82.03	
16	X = 37.430 ~ 37.431 Y = - 68.327 ~ - 68.328	(0.51)	(1.54)	(0.60)	-	-	81.90	-	-	
17	X = 37.423 ~ 37.424 Y = - 68.331	(0.09)	(0.39)	(0.53)	-	-	-	-	81.99	
18	X = 37.423 ~ 37.425 Y = - 68.330 ~ - 68.331	(0.96)	(1.36)	1.08	81.99	82.01	82.01	81.99	82.01	
19	X = 37.421 ~ 37.423 Y = - 68.330 ~ - 68.331	(1.30)	1.46	1.18	81.98	81.99	81.97	81.95	81.99	
20	X = 37.423 ~ 37.424 Y = - 68.330 ~ - 68.331	0.67	0.87	0.90	81.99	81.99	81.99	81.99	81.99	
21	X = 37.424 ~ 37.426 Y = - 68.326 ~ - 68.328	2.83	1.53	2.09	82.02	82.02	82.03	82.02	82.03	
22	X = 37.425 ~ 37.428 Y = - 68.324 ~ - 68.327	(4.13)	1.72	2.72	82.03	82.03	82.02	82.03	82.03	
23	X = 37.427 ~ 37.428 Y = - 68.323 ~ - 68.326	(1.63)	(1.85)	(2.15)	-	-	-	82.01	82.01	南東水口有り
24	X = 37.419 ~ 37.421 Y = - 68.327 ~ - 68.329	1.76	1.21	1.71	81.98	81.98	81.97	81.97	81.97	
25	X = 37.420 ~ 37.422 Y = - 68.326 ~ - 68.328	2.69	1.41	2.25	81.98	81.99	81.99	81.98	81.98	
26	X = 37.422 ~ 37.423 Y = - 68.325 ~ - 68.327	2.40	1.29	2.29	81.99	81.99	82.00	81.99	81.99	
27	X = 37.422 ~ 37.425 Y = - 68.324 ~ - 68.326	3.67	1.70	2.56	82.00	82.02	81.99	81.99	81.99	
28	X = 37.424 ~ 37.426 Y = - 68.322 ~ - 68.325	3.57	1.75	2.40	82.02	82.02	82.02	82.01	82.02	
29	X = 37.425 ~ 37.427 Y = - 68.321 ~ - 68.324	4.30	1.88	3.10	82.01	82.01	81.99	82.01	81.99	北東・南東水口有り
30	X = 37.427 ~ 37.428 Y = - 68.320 ~ - 68.321	(0.40)	(0.84)	(0.98)	-	-	82.01	-	-	南西水口有り
31	X = 37.417 ~ 37.418 Y = - 68.327 ~ - 68.328	0.92	0.76	1.40	81.94	81.94	81.95	81.94	81.94	
32	X = 37.417 ~ 37.420 Y = - 68.325 ~ - 68.327	3.41	1.51	2.58	81.94	81.96	81.94	81.94	81.97	
33	X = 37.418 ~ 37.421 Y = - 68.324 ~ - 68.327	2.96	1.27	2.72	81.97	81.98	81.97	81.97	81.97	
34	X = 37.419 ~ 37.422 Y = - 68.323 ~ - 68.325	3.45	1.40	2.70	81.98	81.98	81.97	81.97	81.96	
35	X = 37.420 ~ 37.423 Y = - 68.321 ~ - 68.324	3.49	1.55	2.51	81.99	81.99	81.99	81.97	81.99	
36	X = 37.422 ~ 37.424 Y = - 68.320 ~ - 68.323	3.58	1.62	2.37	81.98	81.98	81.98	81.99	81.97	北東・南東・南西水口有り
37	X = 37.423 ~ 37.425 Y = - 68.319 ~ - 68.322	2.90	1.64	2.11	81.98	81.99	81.99	81.98	81.98	北東・北西・南東水口有り
38	X = 37.426 ~ 37.428 Y = - 68.318 ~ - 68.320	(3.33)	2.05	2.23	82.01	82.01	82.02	82.01	82.01	北西・南西水口有り
39	X = 37.428 Y = - 68.317 ~ - 68.318	(0.09)	(0.33)	(0.80)	-	-	-	82.01	-	
40	X = 37.414 Y = - 68.328	(0.17)	(0.37)	(0.72)	-	-	-	-	81.92	
41	X = 37.414 ~ 37.416 Y = - 68.327 ~ - 68.328	1.47	1.23	1.88	81.93	81.95	81.94	81.94	81.94	
42	X = 37.415 ~ 37.416 Y = - 68.326 ~ - 68.327	1.17	0.84	1.72	81.94	81.94	81.94	81.94	81.94	
43	X = 37.415 ~ 37.417 Y = - 68.325 ~ - 68.327	1.57	1.09	1.92	81.94	81.94	81.94	81.94	81.94	
44	X = 37.412 ~ 37.414 Y = - 68.328	(0.70)	(0.64)	1.78	81.93	81.93	81.93	-	81.92	
45	X = 37.415 ~ 37.416 Y = - 68.324 ~ - 68.325	0.62	0.79	0.95	-	-	81.97	-	-	
46	X = 37.415 ~ 37.418 Y = - 68.323 ~ - 68.325	3.44	1.35	2.83	81.97	81.97	81.95	81.94	81.94	
47	X = 37.417 ~ 37.419 Y = - 68.322 ~ - 68.324	2.79	1.17	2.64	81.97	81.97	81.97	81.94	81.94	
48	X = 37.418 ~ 37.420 Y = - 68.320 ~ - 68.323	3.52	1.55	2.60	81.97	81.97	81.96	81.96	81.95	
49	X = 37.419 ~ 37.421 Y = - 68.320 ~ - 68.322	2.68	1.30	2.41	81.97	81.98	81.97	81.98	81.97	
50	X = 37.420 ~ 37.423 Y = - 68.319 ~ - 68.321	3.63	1.79	2.34	81.99	81.97	81.99	81.97	81.97	北東・南東水口有り
51	X = 37.422 ~ 37.424 Y = - 68.318 ~ - 68.320	2.60	1.62	1.93	81.99	81.98	81.99	81.98	81.99	北東・南東・南西水口有り
52	X = 37.424 ~ 37.427 Y = - 68.316 ~ - 68.319	4.10	2.23	1.96	82.01	82.01	82.02	82.02	82.01	北西・南西水口有り
53	X = 37.426 ~ 37.428 Y = - 68.315 ~ - 68.317	(2.49)	1.54	2.01	81.99	81.98	81.99	82.00	82.00	
54	X = 37.428 Y = - 68.314 ~ - 68.315	(0.27)	(0.84)	(0.76)	-	-	-	82.00	-	
55	X = 37.414 ~ 37.416 Y = - 68.321 ~ - 68.323	2.15	1.23	1.96	81.94	81.94	81.94	81.94	81.94	
56	X = 37.415 ~ 37.417 Y = - 68.320 ~ - 68.322	2.34	1.24	2.13	81.94	81.94	81.94	81.94	81.94	
57	X = 37.416 ~ 37.418 Y = - 68.319 ~ - 68.321	2.99	1.56	2.20	81.98	81.95	81.98	81.98	81.96	北東・南西水口有り
58	X = 37.417 ~ 37.419 Y = - 68.318 ~ - 68.320	2.24	1.34	2.18	81.97	81.97	81.96	81.97	81.96	南西水口有り

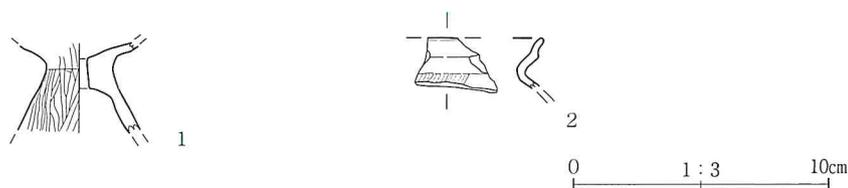
田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
59	X = 37.418 ~ 37.421 Y = - 68.317 ~ - 68.320	3.25	1.78	2.19	81.97	81.97	81.98	81.96	81.98	北東・南西水口有り
60	X = 37.420 ~ 37.423 Y = - 68.316 ~ - 68.319	2.51	1.43	2.02	81.98	81.99	81.98	81.98	81.99	北東・北西・南西水口有り
61	X = 37.422 ~ 37.426 Y = - 68.314 ~ - 68.317	5.98	3.08	2.50	82.02	81.99	82.03	81.99	81.99	北西・南西水口有り
62	X = 37.425 ~ 37.427 Y = - 68.313 ~ - 68.316	2.76	1.69	2.03	81.99	81.99	81.99	82.10	81.99	
63	X = 37.426 ~ 37.428 Y = - 68.312 ~ - 68.314	(2.26)	1.50	1.99	81.99	81.98	81.99	81.99	81.99	
64	X = 37.428 Y = - 68.311 ~ - 68.313	(0.51)	(1.14)	(1.27)	81.97	-	81.97	81.98	81.97	
65	X = 37.412 ~ 37.415 Y = - 68.319 ~ - 68.322	3.13	1.50	2.40	81.93	81.95	81.93	81.91	81.93	
66	X = 37.413 ~ 37.415 Y = - 68.318 ~ - 68.320	2.39	1.33	2.06	81.96	81.96	81.96	81.94	81.95	
67	X = 37.415 ~ 37.417 Y = - 68.317 ~ - 68.320	3.12	1.51	2.32	81.95	81.96	81.96	81.96	81.96	北東水口有り
68	X = 37.416 ~ 37.418 Y = - 68.316 ~ - 68.318	2.14	1.20	2.09	81.96	81.96	81.96	81.96	81.96	
69	X = 37.417 ~ 37.419 Y = - 68.316 ~ - 68.318	2.03	1.10	2.12	81.99	81.99	81.98	81.98	81.97	
70	X = 37.418 ~ 37.420 Y = - 68.315 ~ - 68.317	2.25	1.13	2.41	81.99	81.99	82.00	81.99	81.98	
71	X = 37.419 ~ 37.421 Y = - 68.314 ~ - 68.317	2.90	1.49	2.38	81.98	81.99	81.99	81.98	81.99	北東・南西水口有り
72	X = 37.421 ~ 37.424 Y = - 68.312 ~ - 68.316	7.60	3.08	3.04	81.99	81.99	81.99	81.99	-	南東・南西水口有り
73	X = 37.424 ~ 37.426 Y = - 68.311 ~ - 68.314	3.02	1.46	2.33	81.97	81.97	81.97	81.98	81.96	
74	X = 37.425 ~ 37.427 Y = - 68.310 ~ - 68.312	2.40	1.31	2.00	81.99	81.98	81.98	81.98	81.97	
75	X = 37.427 ~ 37.428 Y = - 68.310 ~ - 68.312	1.86	1.15	1.81	81.99	82.01	81.98	81.99	81.99	
76	X = 37.428 Y = - 68.309 ~ - 68.311	(0.74)	(1.12)	(1.56)	82.01	-	82.01	82.01	82.01	
77	X = 37.407 ~ 37.409 Y = - 68.327 ~ - 68.328	(1.01)	0.74	(2.28)	-	-	81.81	-	81.81	
78	X = 37.404 ~ 37.406 Y = - 68.326 ~ - 68.327	(0.97)	(1.23)	(1.58)	-	-	81.88	-	81.88	
79	X = 37.405 ~ 37.407 Y = - 68.326 ~ - 68.327	1.11	0.73	1.97	81.82	81.86	81.84	81.82	-	
80	X = 37.406 ~ 37.407 Y = - 68.325 ~ - 68.326	0.75	0.64	1.68	81.89	-	81.88	81.88	-	
81	X = 37.402 ~ 37.403 Y = - 68.326 ~ - 68.327	0.60	0.87	1.61	-	81.87	81.87	-	81.87	
82	X = 37.402 ~ 37.405 Y = - 68.325 ~ - 68.327	2.54	1.40	2.19	81.89	81.88	81.87	81.87	81.86	
83	X = 37.403 ~ 37.405 Y = - 68.324 ~ - 68.326	2.62	1.51	2.26	81.83	81.90	81.91	81.84	81.91	
84	X = 37.404 ~ 37.406 Y = - 68.322 ~ - 68.324	1.69	1.36	2.69	81.91	81.88	-	81.89	81.88	北東水口有り
85	X = 37.404 ~ 37.407 Y = - 68.321 ~ - 68.324	2.98	1.26	3.03	81.88	81.89	81.89	81.89	81.89	北西水口有り
86	X = 37.407 ~ 37.408 Y = - 68.322 ~ - 68.323	0.83	0.86	1.14	81.89	81.88	81.88	81.88	81.87	
87	X = 37.408 ~ 37.409 Y = - 68.321 ~ - 68.322	0.93	1.33	8.96	81.92	81.91	81.91	81.89	81.87	
88	X = 37.406 ~ 37.407 Y = - 68.320 ~ - 68.322	1.87	1.27	1.90	81.91	81.91	81.90	81.89	81.88	
89	X = 37.407 ~ 37.409 Y = - 68.319 ~ - 68.321	2.27	1.42	1.82	81.89	81.89	81.89	81.89	81.89	
90	X = 37.408 ~ 37.410 Y = - 68.319 ~ - 68.321	2.95	1.28	2.64	81.93	81.92	81.88	81.90	81.92	
91	X = 37.409 ~ 37.412 Y = - 68.318 ~ - 68.320	2.96	1.32	2.60	81.91	81.91	81.91	81.91	81.90	
92	X = 37.411 ~ 37.413 Y = - 68.317 ~ - 68.319	2.93	1.43	2.33	81.91	81.92	81.92	81.90	81.90	
93	X = 37.412 ~ 37.414 Y = - 68.316 ~ - 68.319	2.22	1.16	2.19	81.94	81.93	81.92	81.91	81.91	
94	X = 37.413 ~ 37.415 Y = - 68.315 ~ - 68.318	2.82	1.63	2.12	81.94	81.93	-	81.93	81.92	
95	X = 37.415 ~ 37.417 Y = - 68.314 ~ - 68.317	2.24	1.25	2.10	81.96	81.96	81.96	81.96	81.96	
96	X = 37.416 ~ 37.418 Y = - 68.314 ~ - 68.316	2.07	1.15	1.98	81.98	81.98	81.98	81.96	81.96	
97	X = 37.417 ~ 37.419 Y = - 68.313 ~ - 68.315	2.23	1.32	1.99	81.99	81.99	81.99	81.99	81.99	
98	X = 37.418 ~ 37.419 Y = - 68.312 ~ - 68.314	1.45	0.98	2.01	81.99	81.99	81.99	81.98	81.99	
99	X = 37.419 ~ 37.420 Y = - 68.312 ~ - 68.314	1.80	1.17	2.13	81.99	81.97	81.99	81.98	81.99	北東・北西水口有り
100	X = 37.421 ~ 37.424 Y = - 68.308 ~ - 68.312	9.60	3.49	3.91	81.99	81.97	81.96	81.97	81.98	南東・南西水口有り
101	X = 37.424 ~ 37.426 Y = - 68.309 ~ - 68.311	2.15	1.37	1.79	81.98	81.98	81.97	81.98	81.96	
102	X = 37.425 ~ 37.427 Y = - 68.308 ~ - 68.310	2.14	1.11	2.09	81.97	81.99	81.99	81.99	81.99	
103	X = 37.426 ~ 37.428 Y = - 68.307 ~ - 68.309	(2.65)	1.50	2.01	81.99	82.01	81.99	82.00	82.00	
104	X = 37.428 Y = - 68.306 ~ - 68.307	(1.04)	(1.15)	(0.54)	-	-	-	82.01	-	
105	X = 37.399 ~ 37.400 Y = - 68.326 ~ - 68.327	(0.41)	(0.71)	(1.36)	-	-	81.86	-	81.86	
106	X = 37.399 ~ 37.402 Y = - 68.325 ~ - 68.327	(2.38)	1.31	2.03	81.86	81.87	81.86	81.86	81.87	
107	X = 37.399 ~ 37.402 Y = - 68.324 ~ - 68.326	3.09	1.11	3.33	81.89	81.82	81.87	81.81	81.87	南東・南西水口有り
108	X = 37.401 ~ 37.403 Y = - 68.323 ~ - 68.325	1.79	1.14	2.15	81.87	81.89	81.90	81.87	-	南西水口有り
109	X = 37.396 ~ 37.399 Y = - 68.326 ~ - 68.327	(2.26)	(1.50)	2.33	-	81.82	81.81	81.81	81.81	南東水口有り
110	X = 37.398 ~ 37.400 Y = - 68.324 ~ - 68.326	1.94	1.59	1.80	81.92	81.81	81.81	81.81	81.81	南東・南西水口有り
111	X = 37.402 ~ 37.404 Y = - 68.320 ~ - 68.323	2.18	1.37	1.90	81.91	81.86	81.87	81.90	81.86	南東水口有り
112	X = 37.403 ~ 37.405 Y = - 68.319 ~ - 68.321	2.68	1.68	2.18	81.87	81.87	81.87	81.86	81.88	南東・南西水口有り
113	X = 37.404 ~ 37.406 Y = - 68.318 ~ - 68.320	3.35	1.74	2.48	81.87	81.87	81.87	81.88	81.86	南東・南西水口有り
114	X = 37.405 ~ 37.408 Y = - 68.317 ~ - 68.320	3.29	1.75	2.42	81.88	81.88	81.88	81.86	81.87	南東・南西水口有り
115	X = 37.407 ~ 37.409 Y = - 68.316 ~ - 68.319	2.43	1.53	2.16	81.89	81.88	81.89	81.87	81.89	南東・南西水口有り
116	X = 37.408 ~ 37.410 Y = - 68.316 ~ - 68.318	2.82	1.53	2.49	81.89	81.89	81.88	81.89	81.88	南東・南西水口有り
117	X = 37.409 ~ 37.412 Y = - 68.315 ~ - 68.317	3.37	1.67	2.45	81.89	81.89	81.89	81.88	81.89	南東・南西水口有り

田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m)					備考	
					NW	NE	中央	SW	SE		
118	X = 37,411 ~ 37,413 Y = - 68,314 ~ - 68,317	282	1.30	2.67	81.91	81.91	81.91	81.89	81.91	南東・南西水口有り	
119	X = 37,412 ~ 37,414 Y = - 68,313 ~ - 68,316	352	1.70	2.43	81.92	81.95	81.92	81.91	81.90	南東・南西水口有り	
120	X = 37,413 ~ 37,415 Y = - 68,313 ~ - 68,315	(2.44)	1.25	2.51	81.93	81.94	81.92	81.90	-	南西水口有り	
121	X = 37,415 ~ 37,416 Y = - 68,313 ~ - 68,314	(1.23)	1.21	(1.51)	81.98	81.98	81.98	81.97	81.97		
122	X = 37,416 ~ 37,418 Y = - 68,311 ~ - 68,313	(2.17)	1.56	2.32	81.98	81.98	81.98	-	81.98	南東水口有り	
123	X = 37,417 ~ 37,419 Y = - 68,310 ~ - 68,313	2.85	1.71	2.24	81.99	81.99	81.99	81.98	81.98	南西水口有り	
124	X = 37,419 ~ 37,420 Y = - 68,310 ~ - 68,312	3.42	1.68	2.58	81.99	81.97	81.98	81.98	81.98		
125	X = 37,423 ~ 37,425 Y = - 68,307 ~ - 68,309	2.68	1.64	2.20	81.96	81.97	81.97	81.98	81.98	南東・南西水口有り	
126	X = 37,424 ~ 37,426 Y = - 68,306 ~ - 68,308	2.26	1.33	2.37	81.98	81.98	81.98	81.98	81.99	南東・南西水口有り	
127	X = 37,425 ~ 37,427 Y = - 68,304 ~ - 68,307	3.56	1.29	2.37	81.97	81.98	81.97	81.99	82.01	南東・南西水口有り	
128	X = 37,426 ~ 37,428 Y = - 68,304 ~ - 68,306	(2.90)	1.73	2.73	82.01	81.99	81.99	82.01	81.99	南東・南西水口有り	
129	X = 37,427 ~ 37,428 Y = - 68,303 ~ - 68,305	(1.01)	(1.46)	(2.75)	81.99	-	81.99	81.99	81.99	南西水口有り	
130	X = 37,396 ~ 37,397 Y = - 68,324 ~ - 68,325	(0.75)	(1.18)	(1.87)	81.88	81.87	-	-	-	北東水口有り	
131	X = 37,396 ~ 37,399 Y = - 68,322 ~ - 68,324	(3.60)	(2.00)	2.54	81.87	81.87	81.88	-	81.86	北東・北西水口有り	
132	X = 37,397 ~ 37,400 Y = - 68,320 ~ - 68,324	4.52	2.02	3.05	81.87	81.87	81.87	81.85	81.86	北東・北西水口有り	
133	X = 37,398 ~ 37,402 Y = - 68,318 ~ - 68,322	7.19	2.80	3.10	81.87	81.88	81.87	81.86	81.87	北東・北西水口有り	
134	X = 37,400 ~ 37,403 Y = - 68,317 ~ - 68,320	5.39	2.40	2.72	81.88	81.84	81.85	81.88	81.84	北西・南東水口有り	
135	X = 37,403 ~ 37,409 Y = - 68,313 ~ - 68,317	8.47	6.07	1.83	-	81.87	81.86	81.88	-	北東・南西水口有り	
136	X = 37,409 ~ 37,412 Y = - 68,311 ~ - 68,314	(6.34)	(4.48)	1.99	81.87	-	81.92	81.90	-	北西水口有り	
137	X = 37,416 ~ 37,417 Y = - 68,308 ~ - 68,309	(0.14)	(0.63)	(0.69)	-	81.90	-	-	-		
138	X = 37,417 ~ 37,421 Y = - 68,306 ~ - 68,309	(2.74)	(2.33)	(4.41)	81.93	81.94	-	-	81.94	北東水口有り	
139	X = 37,421 ~ 37,423 Y = - 68,305 ~ - 68,307	2.44	1.47	2.09	81.84	81.96	81.94	81.94	81.94	北東・北西水口有り	
140	X = 37,422 ~ 37,424 Y = - 68,303 ~ - 68,306	3.52	2.02	2.02	81.96	81.96	81.96	81.96	81.96	北東・北西水口有り	
141	X = 37,423 ~ 37,426 Y = - 68,302 ~ - 68,304	3.91	2.54	1.89	81.97	81.99	81.97	81.95	81.97	北東・北西水口有り	
142	X = 37,425 ~ 37,428 Y = - 68,301 ~ - 68,303	(1.97)	(2.30)	1.98	81.99	81.98	81.98	81.98	-	北西水口有り	
143	X = 37,401 ~ 37,403 Y = - 68,315 ~ - 68,317	2.30	1.59	2.07	81.89	81.87	81.87	81.86	81.85	北西・南西水口有り	
144	X = 37,402 ~ 37,404 Y = - 68,314 ~ - 68,316	1.42	0.93	1.99	81.87	81.87	81.87	81.87	81.86		
145	X = 37,403 ~ 37,405 Y = - 68,313 ~ - 68,315	2.79	1.39	2.26	81.96	81.96	81.96	81.84	81.84		
146	X = 37,404 ~ 37,406 Y = - 68,312 ~ - 68,314	2.47	1.18	2.49	81.87	81.87	81.86	81.83	81.81		
147	X = 37,406 ~ 37,408 Y = - 68,312 ~ - 68,313	1.86	1.22	1.69	81.86	81.86	81.86	81.87	81.86		
148	X = 37,407 ~ 37,409 Y = - 68,311 ~ - 68,313	2.14	1.43	1.83	81.86	81.88	81.86	81.88	81.88		
149	X = 37,408	Y = - 68,310 ~ - 68,312	2.06	1.21	1.95	81.89	81.89	81.88	81.87	81.87	
150	X = 37,409 ~ 37,411 Y = - 68,309 ~ - 68,311	2.25	1.10	2.26	81.91	81.91	81.91	81.89	81.89		
151	X = 37,410 ~ 37,412 Y = - 68,308 ~ - 68,310	(1.70)	(1.40)	1.85	81.90	81.92	81.92	81.92	81.92		
152	X = 37,411 ~ 37,412 Y = - 68,308	(0.44)	(0.65)	(1.02)	-	-	81.93	-	-		
153	X = 37,420	Y = - 68,305	(0.02)	(0.33)	(0.11)	-	-	81.94	-	-	
154	X = 37,420 ~ 37,421 Y = - 68,304 ~ - 68,305	(0.68)	0.92	(1.14)	81.94	81.94	81.94	-	-		
155	X = 37,420 ~ 37,423 Y = - 68,302 ~ - 68,304	(2.60)	1.71	1.87	81.96	81.96	81.96	81.96	81.96		
156	X = 37,422 ~ 37,423 Y = - 68,301 ~ - 68,303	(1.71)	1.20	1.93	81.96	81.96	81.97	81.96	81.96		
157	X = 37,423 ~ 37,425 Y = - 68,301 ~ - 68,302	(0.83)	1.02	(1.32)	81.98	81.98	81.98	81.97	-		
158	X = 37,425	Y = - 68,301	(0.11)	(0.53)	(0.44)	82.01	-	-	-	-	
159	X = 37,421	Y = - 68,302	(0.17)	(0.66)	(0.50)	-	-	81.92	-	-	
160	X = 37,421 ~ 37,422 Y = - 68,301 ~ - 68,302	(0.21)	(0.56)	(0.80)	-	-	-	-	-		
161	X = 37,396 ~ 37,397 Y = - 68,321 ~ - 68,322	(0.22)	(0.75)	(0.58)	-	-	81.86	-	-		
162	X = 37,396 ~ 37,398 Y = - 68,319 ~ - 68,321	(1.99)	1.62	(1.84)	81.86	81.86	81.86	-	81.87		
163	X = 37,397 ~ 37,399 Y = - 68,318 ~ - 68,320	(3.33)	1.59	2.27	81.88	81.88	81.87	81.87	81.87		
164	X = 37,398 ~ 37,400 Y = - 68,317 ~ - 68,319	2.51	1.33	2.34	81.87	81.87	81.87	81.85	81.83		
165	X = 37,398 ~ 37,401 Y = - 68,315 ~ - 68,317	2.71	1.41	2.31	81.86	81.84	81.86	81.86	81.85	北東・南東水口有り	
166	X = 37,400 ~ 37,402 Y = - 68,314 ~ - 68,316	2.54	1.48	1.98	81.86	81.86	81.85	81.87	81.86	北西・南西水口有り	
167	X = 37,400 ~ 37,402 Y = - 68,312 ~ - 68,314	1.88	1.02	2.11	81.87	81.85	81.85	81.86	81.85		
168	X = 37,401 ~ 37,404 Y = - 68,311 ~ - 68,313	3.05	1.58	2.17	81.83	81.82	81.85	81.84	81.84		
169	X = 37,402 ~ 37,405 Y = - 68,310 ~ - 68,312	2.90	1.64	2.34	81.86	81.84	81.85	81.85	81.89	南東水口有り	
170	X = 37,404 ~ 37,406 Y = - 68,310 ~ - 68,312	2.53	1.25	2.95	81.88	81.88	81.88	-	81.93	南東・南西水口有り	
171	X = 37,406 ~ 37,408 Y = - 68,309 ~ - 68,311	1.97	1.51	1.74	81.90	81.90	81.93	81.92	81.93	南東・南西水口有り	
172	X = 37,407 ~ 37,409 Y = - 68,308 ~ - 68,310	1.55	1.00	1.77	81.88	81.88	81.91	81.93	81.93	南東・南西水口有り	
173	X = 37,407 ~ 37,410 Y = - 68,307 ~ - 68,309	2.13	1.09	2.39	81.87	81.87	81.90	81.93	81.93	南西水口有り	
174	X = 37,409 ~ 37,411 Y = - 68,308 ~ - 68,309	(1.04)	(1.21)	(1.75)	81.92	81.92	81.91	-	-		
175	X = 37,397	Y = - 68,317 ~ - 68,318	(0.24)	(0.91)	(0.61)	-	81.87	-	-	-	
176	X = 37,397 ~ 37,398 Y = - 68,316 ~ - 68,317	(0.98)	1.01	(1.38)	-	81.87	81.87	-	-		

田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
177	X = 37.397 ~ 37.399 Y = - 68.314 ~ - 68.316	(2.14)	1.31	(2.09)	-	81.85	81.86	81.86	81.86	北東水口有り
178	X = 37.398 ~ 37.400 Y = - 68.312 ~ - 68.314	2.89	1.74	1.87	81.87	81.84	81.84	81.87	81.84	北西・南西水口有り
179	X = 37.399 ~ 37.401 Y = - 68.311 ~ - 68.313	1.88	1.19	1.81	81.83	81.82	81.82	81.82	81.82	
180	X = 37.400 ~ 37.402 Y = - 68.310 ~ - 68.312	2.69	1.68	1.82	81.84	81.84	81.83	81.83	81.84	
181	X = 37.401 ~ 37.403 Y = - 68.309 ~ - 68.311	1.88	1.38	1.72	81.87	81.89	81.88	81.87	81.87	北東・南東水口有り
182	X = 37.397 ~ 37.398 Y = - 68.311 ~ - 68.313	(1.17)	1.68	(1.24)	81.87	81.83	81.84	81.83	-	北西水口有り
183	X = 37.397 ~ 37.399 Y = - 68.310 ~ - 68.312	(1.92)	1.09	(2.20)	81.82	81.82	81.83	81.82	81.82	
184	X = 37.398 ~ 37.400 Y = - 68.308 ~ - 68.311	(4.18)	1.83	2.52	81.83	81.85	81.83	81.83	81.83	
185	X = 37.399 ~ 37.401 Y = - 68.307 ~ - 68.309	2.87	1.36	2.57	81.87	81.87	81.87	81.87	81.87	北東・南東水口有り
186	X = 37.402 Y = - 68.301 ~ - 68.303	(0.35)	(1.46)	(0.59)	-	-	81.91	81.91	-	南西水口有り
187	X = 37.399 ~ 37.401 Y = - 68.302 ~ - 68.304	(2.07)	(1.39)	1.76	81.87	81.88	81.87	81.87	81.88	北東水口有り
188	X = 37.400 ~ 37.402 Y = - 68.300 ~ - 68.303	(3.69)	2.05	2.22	81.92	81.86	81.89	81.89	81.87	北東・北西水口有り
189	X = 37.401 ~ 37.402 Y = - 68.300 ~ - 68.301	(0.25)	(0.45)	(1.00)	81.86	-	-	-	-	北西水口有り
190	X = 37.398 ~ 37.399 Y = - 68.301 ~ - 68.303	(1.38)	(1.51)	(1.32)	81.87	81.86	81.87	-	81.87	
191	X = 37.398 ~ 37.400 Y = - 68.300 ~ - 68.302	(1.74)	(1.53)	(1.75)	81.89	81.89	81.89	-	81.89	



第19図 足跡平面図



第20図 第2面出土遺物

第4表 第2面出土遺物観察表

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 器台	-	-	(35)	白色灰物	酸化 良好	明黄褐色	外面：ミガキ。 内面：ヘラナデ。	外面赤彩。
2	土師器 S字堿	-	-	(27)	白・茶色粒	軟質	にぶい 橙色	外面：口縁部ロクロによるヨコナデ、肩部ハケメ。 内面：口縁～肩部ロクロによるヨコナデ。	口縁部片。 摩滅。

3 第1面 (As-B軽石下水田)

(1) 水田 (第21・22図、第5・6表、PL.5)

被覆層と水田の残存状況 第1面とした水田面は、天仁元年(1108)の浅間山噴火によるAs-B軽石1次堆積層により水田面全域が0.3~12cmの厚さで直接覆われ、水田面直上には青灰色火山灰が1mm前後の厚さで堆積している。なお、本遺構面上位より掘り込まれた中・近世の溝2条、土坑13基、ピット4基を検出しており、底部は水田面下まで達している。土坑には調査区壁で断面確認した、As-A軽石復旧坑4基を含む。

水田域の地形 水田確認面は北東から南西にかけて緩やかに低くなっており、調査区四隅の比高差は北側東西で0.06m、南側東西で0.05m、西側南北で0.07m。東側南北で0.06m、北東から南西の比高差は0.08mとなっている。

畦畔の走向と区画 畦畔は全部で6条、水田面は9面検出した。南北畦畔は走向方向に若干の蛇行がみられるものの、N-2°-Eを指向している。調査区中央付近から検出した南北畦畔は、調査区を縦断しており北側と西側で東西畦畔の交点となる。この2条の東西畦畔はY=-68,310付近で強く屈曲し、走行方向を南北にとっている。調査区中央と西側の南北畦畔の畦間は12.71m、調査区北側と南側の東西畦畔の畦間は2.23mを測る。畦畔幅は0.40~0.98mで、断面形状は弧状・台形を呈する。

耕作土 しまりの強い黒褐色土(基本層序Ⅶ層)を耕作土層とし、層厚は3.7~8.5cmで南側ほど薄くなっている。また、水田耕作土表層に耕作が行われなかったことを示す黒色帯は確認されていないことから、軽石降下直前まで水田として利用されていたと考えられる。

取配水の方法 4箇所の水口を確認している。また、調査区北西に南北方向の溝状の窪みを確認している。この窪みは両側を畦畔によって区画されており水口を伴うことから、水田に配水を行った水路と考えられる。

足跡 牛馬の足跡と考えられる凹凸は部分的に散見されたが、明確に歩行列と確認できるものはなかった。

出土遺物 須恵器・土師器・灰釉陶器等が計7点出土しており、うち水田面直上から出土した羽釜1点を図示。

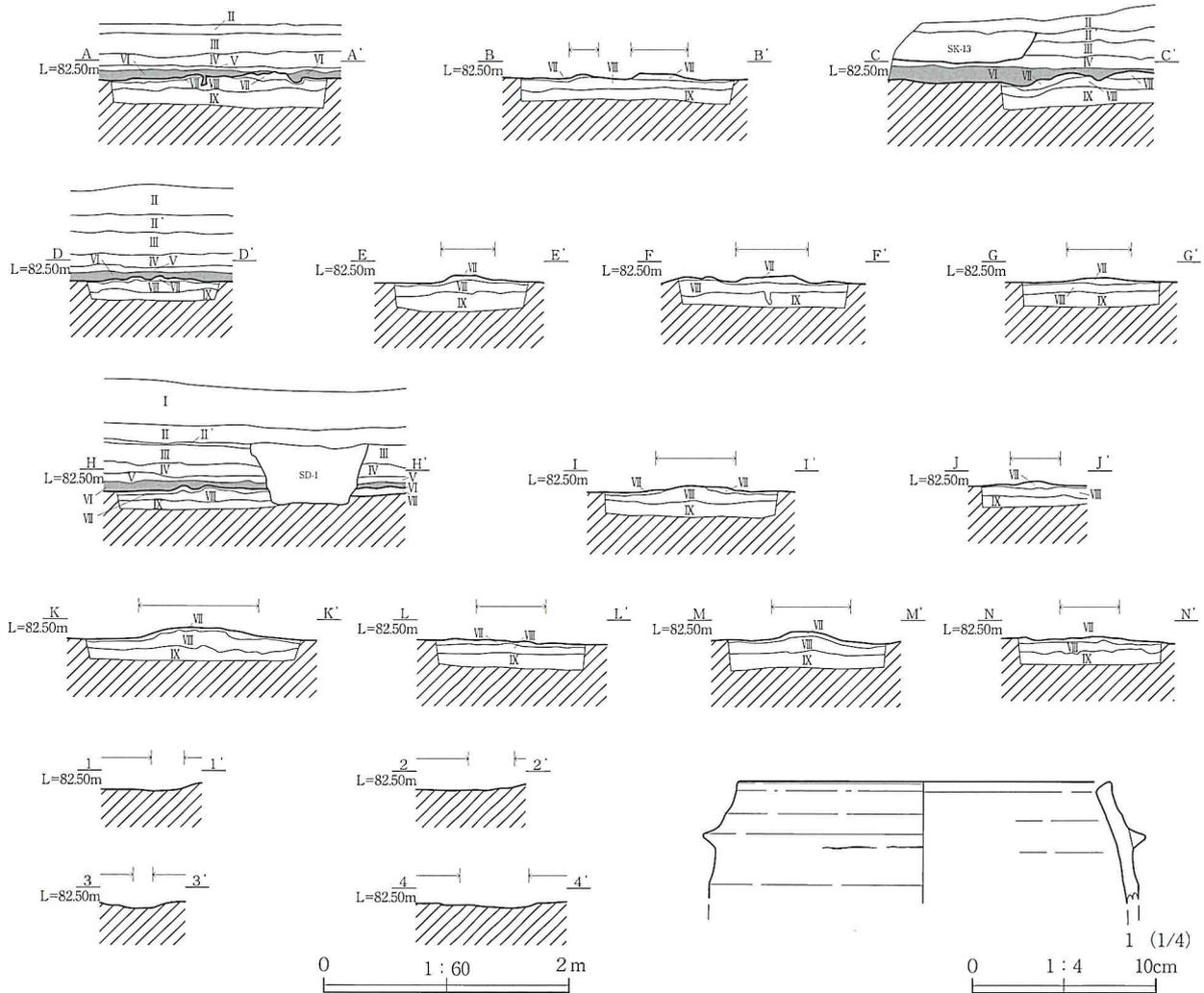
備考 調査区中央付近の南北畦畔を境として、水田面の形状が異なっている。等高線にも表れているように、南北畦畔東側では全体的に平坦であるのに対し、西側では非常に凹凸の多い水田面となっている。

第5表 As-B軽石下水田計測表

田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
1	X = 37.431 Y = - 68.334 ~ - 68.335	(0.30)	(1.68)	(0.27)	-	-	-	82.37	82.35	
2	X = 37.430 ~ 37.431 Y = - 68.331 ~ - 68.333	(1.21)	(1.87)	(1.44)	82.34	82.32	82.33	82.33	82.34	
3	X = 37.427 ~ 37.430 Y = - 68.332 ~ - 68.335	(10.30)	(3.84)	(3.27)	82.38	82.34	-	82.35	82.36	
4	X = 37.423 ~ 37.431 Y = - 68.319 ~ - 68.331	(62.54)	12.19	(8.07)	82.33	82.34	82.35	82.32	82.33	
5	X = 37.424 ~ 37.428 Y = - 68.314 ~ - 68.318	(13.33)	4.05	(3.77)	82.34	82.31	-	82.31	82.31	
6	X = 37.399 ~ 37.423 Y = - 68.318 ~ - 68.331	(214.53)	(12.69)	23.94	82.30	82.31	82.34	82.31	82.29	
7	X = 37.398 ~ 37.429 Y = - 68.300 ~ - 68.313	(364.00)	(12.60)	(31.04)	82.30	-	82.30	82.32	-	
8	X = 37.395 ~ 37.402 Y = - 68.318 ~ - 68.327	(38.47)	(9.66)	(6.21)	82.35	82.35	82.36	82.35	82.34	
9	X = 37.397 ~ 37.401 Y = - 68.315 ~ - 68.318	(10.10)	2.71	(4.49)	82.36	82.34	-	82.35	82.34	



第21図 第1面 全体図



第22図 As-B軽石下水田畦畔・水口断面図、出土遺物

(2) 溝

SD01 (第23図、第6表、PL.6)

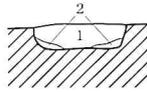
位置 X = 37,397~37,428、Y = -68,310~68,313 重複 As-B軽石下水田およびSK07を削平しており、後出する。
 規模 走向方向S - 4° - E、検出長30.92m、幅上端0.91m、深さ0.47mを測り、調査区を縦断する。断面形態は箱状を呈する。覆土 灰黄褐色砂質土を主体として、水田耕作土Ⅶ層およびⅧ層をブロック状に含む。出土遺物 小破片であるが陶磁器が5点出土しており、うち1点を図示。所見 出土遺物およびAs-A軽石復旧坑と同様にⅢ層を掘り込んでいることから、近世の遺構と考えられる。SD02とは、交点にあたる箇所に攪乱を受けているため前後関係は不明であるが、覆土・検出状況から同時存在の可能性が考えられる。

SD02 (第23図、PL.6)

位置 X = 37,412~37,413、Y = -68,308~68,329 重複 As-B軽石下水田の畦畔を削平しており、後出する。
 規模 走向方向S - 89° - W、検出長20.85m、幅上端0.74m、深さ0.37mを測り、調査区を横断する。断面形態は箱状~台形状を呈する。覆土 SD01と同様に、灰黄褐色砂質土を主体として、水田耕作土Ⅶ層およびⅧ層をブロック状に含む。出土遺物 陶磁器片が1点出土しているが、小破片のため図示には至らず。所見 出土遺物およびAs-A軽石復旧坑と同様にⅢ層を掘り込んでいることから、近世の遺構と考えられる。また上述のようにSD01とは、覆土・検出状況から同時存在の可能性が考えられる。

SD01

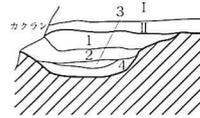
$\frac{A}{L=83.00m}$

**SD01 SPA**

- 1 にぶい褐色土 (7.5YR5/4) 締まり弱く、粘性弱い。As-A軽石が混在する。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性やや弱い。水田基盤層のブロックをやや多く含む。

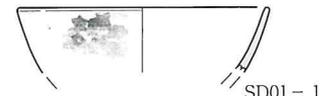
SD02

$\frac{A}{L=83.00m}$

**SD02 SPA**

- 1 褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。As-A軽石が混在する。
- 2 灰黄褐色土 (10YR5/2) 締まり弱く、粘性弱い。含有物少なく肌理の細かい砂質シルト。
- 3 褐灰色土 (10YR4/1) 締まり弱く、粘性弱い。含有物少なく肌理の細かい砂質シルト。
- 4 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性やや弱い。水田基盤層のブロックをやや多く含む。

0 1 : 60 2 m



0 1 : 3 10cm

第 23 図 SD01・02 断面図、出土遺物

(3) 土坑

SK01 (第24図、PL.6)

位置 X = 37,406~37,407、Y = -68,309~-68,310 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸113m、短軸0.99m、深さ0.17mを測り、平面形状楕円形、断面形状台形状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体として、Ⅶ層およびⅧ層をブロック状に含む。出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK02 (第24図、第6表、PL.6)

位置 X = 37,409~37,411、Y = -68,316~-68,319 重複 As-B軽石下水田およびSK03と重複し、いずれより後出する。規模 長軸2.87m、短軸1.95m、深さ0.21mを測り、平面形状はやや不整形な長方形、断面形状台形状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体として、Ⅶ層およびⅧ層をブロック状に含む。出土遺物 須恵器、土師器片が20点出土しており、須恵器高台坏1点を図示。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK03 (第24図、PL.6)

位置 X = 37,410~37,411、Y = -68,318~-68,319 重複 SK02に先行し、As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸1.76m、短軸1.01m、深さ0.28mを測り、平面形状長方形、断面形状台形状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体として、Ⅶ層およびⅧ層をブロック状に含む。出土遺物 土師器片が出土するが、小破片のため図示には至らず。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK04 (第24図、PL.6)

位置 X = 37,424、Y = -68,323 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸0.40m、短軸0.36m、深さ0.06mを測り、平面形状円形、断面形状台形状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK05 (第24図、PL.6)

位置 X = 37,423~37,424、Y = -68,323~-68,324 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸0.90m、短軸0.66m、深さ0.16mを測り、平面形状円形、断面形状台形状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK06 (第24図、PL.6)

位置 X = 37,423~37,426、Y = -68,331~-68,332 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 調査区際での検出で全体的な規模・形状は判然としないが、長軸(2.44)m、短軸(0.44)m、深さ0.37mを測る。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体としてⅦ層およびⅧ層をブロック状に含み、含有量は他遺構より多い。出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK07 (第24図、第6表、PL.6)

位置 X = 37,424~37,426、Y = -68,310~-68,312 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸2.04m、短軸1.78m、深さ0.24mを測り、平面形状方形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 須恵器甕が1点出土。所見 重複関係および覆土の状態から、時期は中世以降と考えられる。

SK08 (第25図、PL.6)

位置 X = 37,427~37,429、Y = -68,308~-68,309 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸(2.05)m、短軸1.60m、深さ0.26mを測り、平面形状方形、断面形状箱状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK09 (第25図、PL.6)

位置 X = 37,425~37,426、Y = -68,307~-68,309 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸2.94m、短軸1.25m、深さ0.18mを測り、平面形状長方形、断面形状台形状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

SK10 (第25図、PL.6)

位置 X = 37,429~37,432、Y = -68,327 規模 重機掘削による調査区壁面のみの検出であり、残存長1.72m、深さ0.29mを測る。覆土 As-A軽石を主体とする。出土遺物 無し。所見 検出層位および覆土の状態から、天明3年(1783)の浅間山噴火に伴うAs-A軽石復旧坑と思われる。

SK11 (第25図)

位置 X = 37,431、Y = -68,332~-68,335 規模 重機掘削による調査区壁面のみの検出であり、残存長2.19m、深さ0.24mを測る。覆土 As-A軽石を主体とする。出土遺物 無し。所見 検出層位および覆土の状態から、天明3年(1783)の浅間山噴火に伴うAs-A軽石復旧坑と思われる。

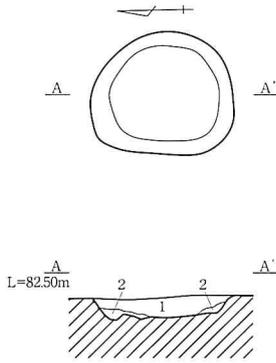
SK12 (第25図)

位置 X = 37,427~37,429、Y = -68,332~-68,335 規模 重機掘削による調査区壁面のみの検出であり、残存長2.52m、深さ0.21mを測る。覆土 As-A軽石を主体とする。出土遺物 無し。所見 検出層位および覆土の状態から、天明3年(1783)の浅間山噴火に伴うAs-A軽石復旧坑と思われる。

SK13 (第25図)

位置 X = 37,415~37,420、Y = -68,329 規模 重機掘削による調査区壁面のみの検出であり、残存長6.72m、深さ0.21mを測る。覆土 As-A軽石を主体とする。出土遺物 無し。所見 検出層位および覆土の状態から、天明3年(1783)の浅間山噴火に伴うAs-A軽石復旧坑と思われる。

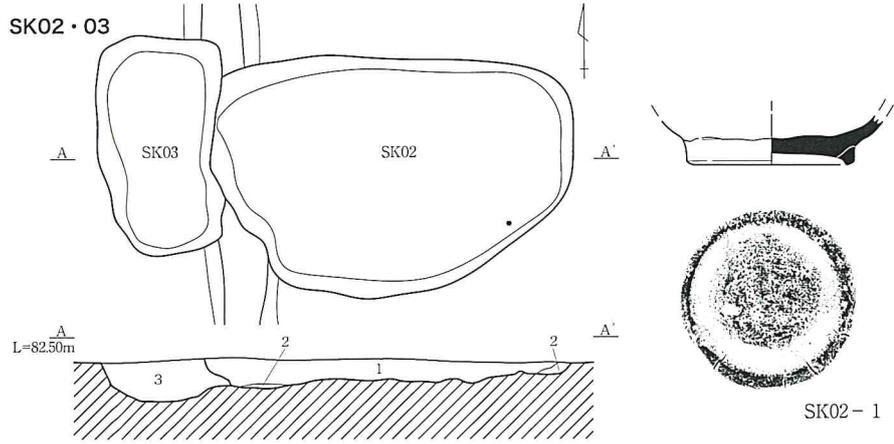
SK01



SK01

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まりやや弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とし、黄褐色土が混在する。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。

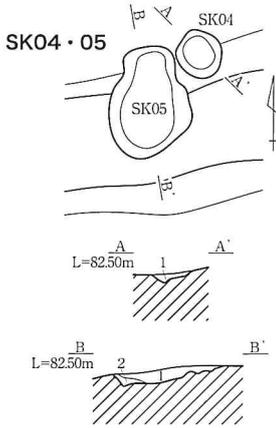
SK02・03



SK02・03

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まりやや弱く、粘性やや弱い。
水田基盤層のブロックをやや多く含む。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。
- 3 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。

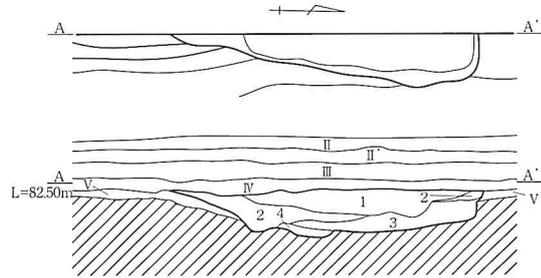
SK04・05



SK04・05

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まりやや弱く、粘性やや弱い。
水田基盤層のブロックをやや多く含む。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。

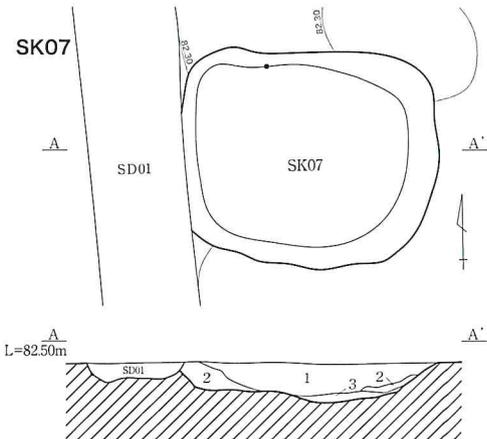
SK06



SK06

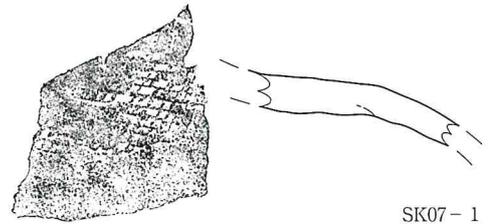
- 1 に近い黄褐色土 (10YR5/3) 締まりやや弱く、粘性弱い。
黄褐色ブロックを主体とし、As-B 軽石混土を含む。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) 締まりやや弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とし、水田基盤層のブロックをやや多く含む。
- 4 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性やや弱い。
水田基盤層のブロックをやや多く含む。

SK07



SK07

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とし、
水田基盤層のブロックをやや多く含む。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。
- 3 褐色土 (10YR5/1) 締まりやや強く、粘性やや弱い。
水田基盤層のブロックをやや多く含む。

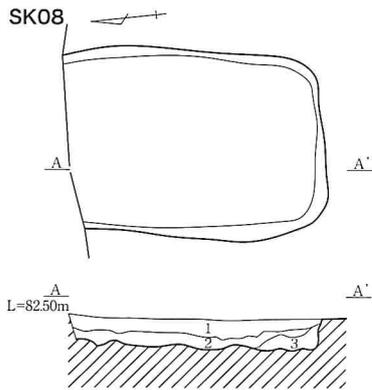


SK07-1

0 1:3 10cm

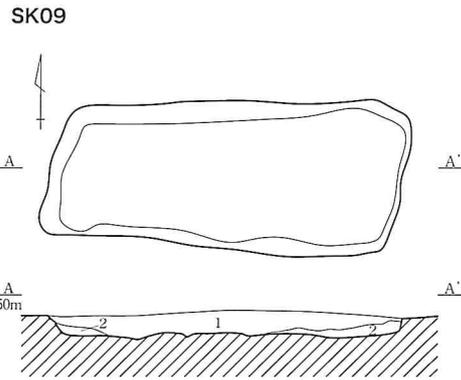
0 1:60 2m

第 24 図 SK01 ~ 07 平面・断面図、出土遺物



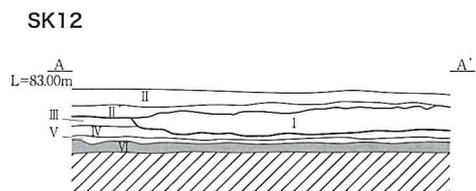
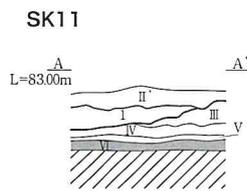
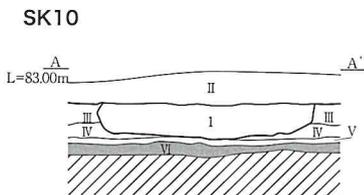
SK08

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まりやや弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とし、水田基盤層のブロックをやや多く含む。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まり弱く、粘性弱い。
As-B 軽石混土を主体とする。
- 3 褐色土 (10YR5/1) 締まりやや強く、粘性やや弱い。
水田基盤層のブロックをやや多く含む。

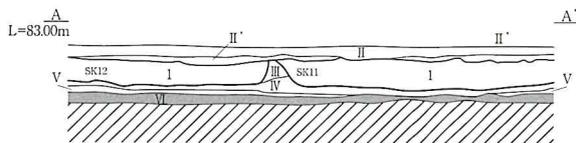


SK09

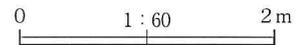
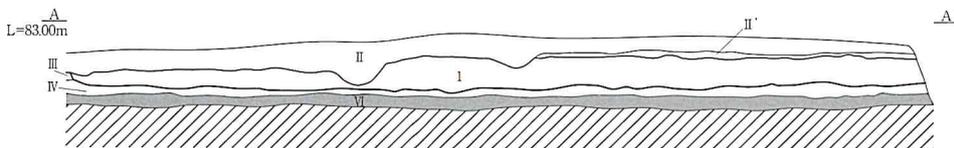
- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締まりやや弱く、粘性やや弱い。
As-B 軽石混土を主体とし、水田基盤層のブロックをやや多く含む。
- 2 褐色土 (10YR5/1) 締まりやや強く、粘性やや弱い。
水田基盤層のブロックをやや多く含む。



SK11・12



SK13



SK10～13

- 1 褐色～灰黄褐色土 (10YR6/1～6/2) 締まりやや強く、粘性弱い。
As-A 軽石土。

第 25 図 SK08～13 平面・断面図

(4) ピット

P01 (第26図)

位置 X = 37,399, Y = -68,308 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸0.31m、短軸0.25m、深さ0.09mを測り、平面形状円形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。

所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

P02 (第26図)

位置 X = 37,409~37,410, Y = -68,319 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸0.21m、短軸0.17m、深さ0.11mを測り、平面形状円形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。

所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

P03 (第26図)

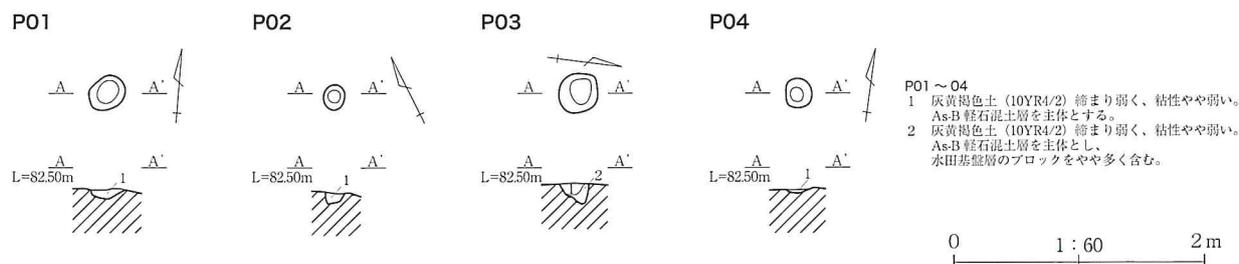
位置 X = 37,428, Y = -68,332~-68,333 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸0.33m、短軸0.31m、深さ0.13mを測り、平面形状円形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。

出土遺物 無し。所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。

P04 (第26図)

位置 X = 37,422~37,423, Y = -68,311 重複 As-B軽石下水田より後出する。規模 長軸0.23m、短軸0.21m、深さ0.05mを測り、平面形状円形、断面形状弧状を呈する。覆土 As-B軽石2次堆積層を主体とする。出土遺物 無し。

所見 重複関係および覆土の状態から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。



第26図 P01～04 平面・断面図

第6表 第1面出土遺物観察表

As-B 軽石下水田

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	土師器 羽釜	(203)	-	(6.7)	白色粒、小石	良好	灰黄褐色	外面：口縁～胴部ロクロによるヨコナデ。 内面：口縁～胴部ロクロによるヨコナデ。	口縁～胴部片。

SD01

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	陶磁器 碗	(98)	-	(2.6)	細砂粒	良好	明オリ ブ灰色	外面：ロクロによるヨコナデ。 内面：ロクロによるヨコナデ。	口縁部片。 文様あり。

SK02

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	須恵器 高台付埴	-	60	(20)	白色粒	良好	黄灰色	外面：ロクロナデ、高台部ヨコナデ。底部回転糸切り。 内面：ロクロナデ。	底部片。

SK10

No	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	須恵器 甕	-	-	(3.2)	白色粒	良好	暗灰黄色	外面：肩上部タタキメ、下部ヨコナデ。 内面：肩上部ユビナデ、下部ユビオサエ。	肩部片。

第6章 調査の成果とまとめ

1 調査の成果

古墳時代以前

第3面の1号周溝状遺構下にトレンチでの断面確認のみであるが、北東から南西方向へ走行する溝状の落ち込みを検出している。掘削深度が深くなっており安全性を優先したため底面まで掘り下げることができなかったが、周辺の萩原・沖中遺跡7のC・Dトレンチで確認された自然流路と同じ層位から掘り込んでおり、土層の堆積状況も似通っているため、本遺構も同様の性格のものと考えられる。

出土遺物がないため確実な時期については不明であるが、As-C軽石混土層段階には埋没しており、上部に古墳時代前期の1号周溝状遺構があるため、古墳時代前期以前の流路と推察される。

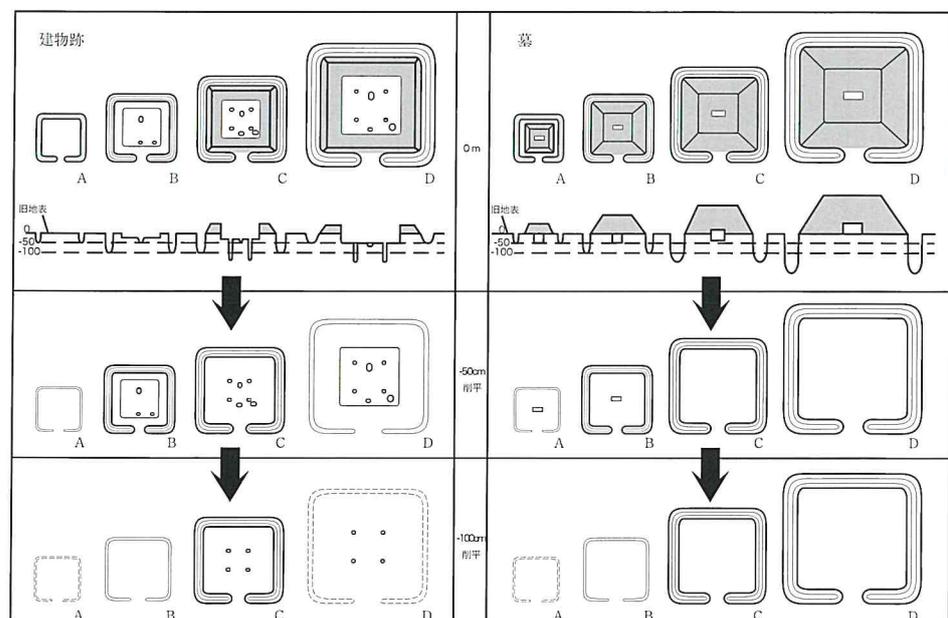
古墳時代

この時期の遺構は、S字口縁甕を主体として伴う周溝状遺構を検出した第3面と、5世紀末～6世紀初頭の榛名山の噴火に伴う降下テフラを起因とするHr-FA洪水層下水田を検出した第2面とに分けられる。周辺遺跡で確認されている6世紀中頃の榛名山から噴出された降下テフラを起因とするHr-FP洪水層下水田については、本遺跡では検出しなかった。

上述のように、第3面では周溝状遺構5基を中心として、埋甕1基・土坑5基を検出している。周溝状遺構は樽式もしくは樽系の壺片を少数含むが、いずれもS字口縁甕を主体とする遺物を検出している。本遺構出土のS字口縁甕は、口縁部外面の刻み目は消失するが肩部内面に横・斜め方向のハケメが残るもの、肩部内面のハケメは喪失し外面の上部の横方向ハケメを残すもの、2種類が確認でき田口編年のⅡ・Ⅲ期に該当するものと考えられ、古墳時代前期前半から中葉の時期に比定できる。

遺構の性格については、西横手遺跡群で確認されている周溝墓の可能性が考えられるが、主体部は検出されず出土遺物に関しても、周溝覆土や周溝区画内の掘削土を持ち帰り篩にかけ精査したが、葬送に伴うような遺物はなく、一般的な住居跡出土遺物と同様の構成となっており、積極的に墓としての性格を認定できる要素が少ないように思われる。むしろ、県内では飯島義雄氏が指摘され、本遺跡周辺の横手早稲田遺跡や中内村前遺跡、南部

拠点地区遺跡群No.11等で確認されている、いわゆる「周溝をもつ建物」である可能性が高いと考えられる。及川氏は論考の中で、「周溝をもつ建物」と周溝墓との遺構検出時の在り方について類型化されており、両者の関係性を提示されており、検出状況によっては、周溝が巡れば周溝墓と一概に言えないことを示している(第27図)。



第27図 「周溝をもつ建物」・周溝墓の遺構検出模式図(及川2004を再トレース)

本遺跡での周溝状遺構

区画内で住居掘り方や床面、柱穴痕等の住居構造を明確に示す遺構の検出には至っていない。そのなかで3号周溝状遺構の西側で検出したSK15については、焼土・灰・炭化物が上層に見られ炉跡と考えることもでき、住居構造の一端を示している可能性が高いように思われる。

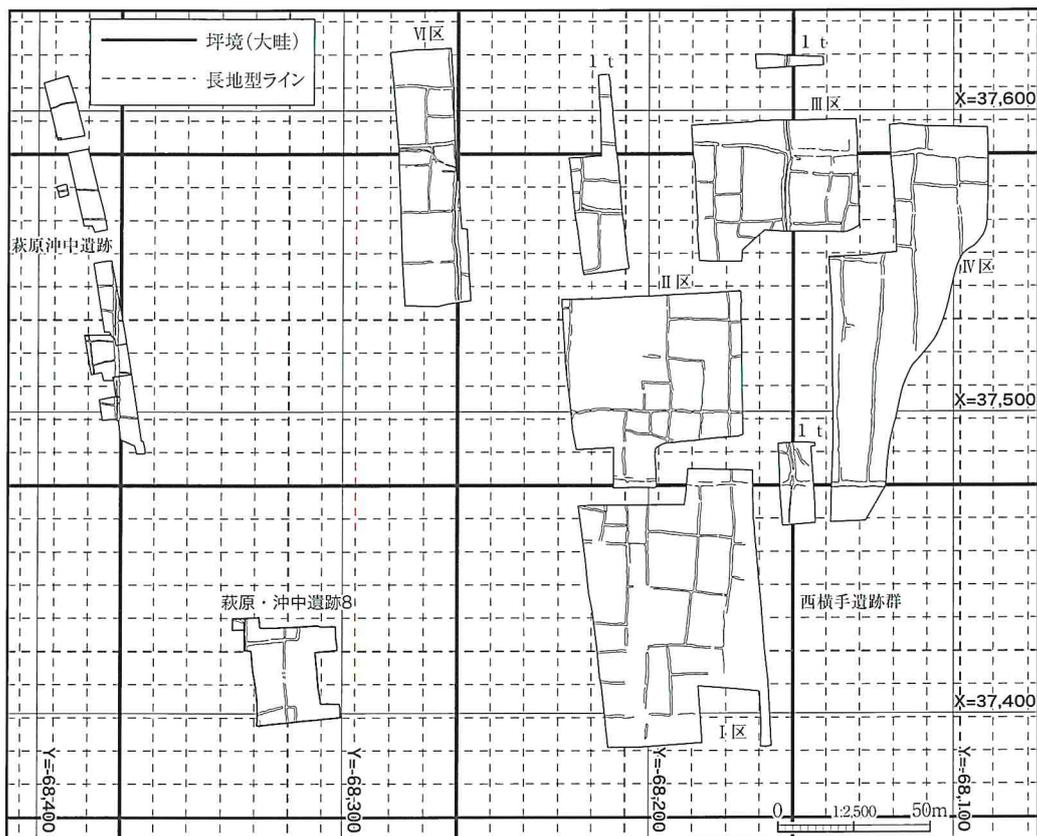
一方で1号周溝状遺構については、断面観察から明らかな盛土構造が認められ、周溝区画内も他の遺構に比べ、高まりが強くなっている。この遺構に関しては上述のように埋葬施設や葬送に直接的に関わるような出土遺物は確認できていないものの、周溝墓となる可能性も否定できないものである。

第2面で検出したHr-FA洪水層下水田は4条の大畦畔により大きく6つの区画に分けられ、それぞれの区画内をさらに小畦畔で区画した「小区画水田」である。また、大畦畔と小畦畔の走行方向には関連性が見られ、水田構築時の計画性を示唆させるものである。なお、先述したように下層に周溝状遺構があり、特に1・3号周溝状遺構の区画内にあたる箇所にはその手前まで小畦畔が巡っており、周溝区画内での水田としての利用はなかったようである。

本遺跡では水田面へ配水した水路の検出には至っていないが、大畦畔に面する小畦畔はほぼ水口となり、水田面への取・配水をなしていたようである。小区画内での水口は少なく、全体的に北東から南西に向けて緩やかな傾斜をしており、一部ではオーバーフローによって配水したことも想定される。

平安時代

本遺跡では、右大臣藤原宗忠の日記『中右記』の中に記載があり、天仁元年（1108）に浅間山の噴火に伴って降下とされるAs-B軽石に覆われた水田跡を検出した。本遺跡周辺では、1町方格の地割りが発掘調査によって広く確認されており、「条里型水田」の検討が進んでいる（第28図）。坪境については西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱ調査時のⅢおよびⅣ区で検出された南北畦畔、Ⅳ区の南北畦畔と萩原沖中遺跡2・3区で検出された南北畦畔があり、



第28図 本遺跡周辺のAs-B軽石下水田と坪内区画（高崎市教育委員会2013を加筆・修正）

それぞれ108～110mの幅を測り南北方向の坪境を示している。また、西横手遺跡群Ⅰ・ⅡのⅢ・Ⅳ・Ⅵ区と1トレンチ、南の西横手遺跡群Ⅰ・ⅡのⅡ・Ⅳ区と3トレンチにおいて東西方向の畦畔が検出され110m前後の幅を測り、東西方向の坪境の畦畔となっている。

これらの周辺遺跡の畦畔の状況や坪境の状況を鑑みると、本遺跡で検出した畦畔は坪内の区画畦畔に当たるものと考えられる。しかしながら、調査区中央と西側の南北畦畔は長地型ラインにほぼ沿ってはいるが、東西畦畔は調査区中央の南北畦畔との交点から3～4m前後でそれぞれL字形に折れ曲がり、走行方向も北東から南西へ走行軸が斜行していることから、厳密な長地型とは言えずかなり弛緩している状況が窺える。このような南北畦畔の連続性と東西畦畔の不連続性は周辺遺跡でも見られ、長地型・半切型のほか両者に属さないものが混在する状況は過去の調査においても指摘されている点であり、制度ととしてではなく耕作単位の継承が示唆されている。

水田面への取水は調査区北西側に2条の畦畔により区画された南北方向の水路を検出しており、これにより取水をなしていたものと思われる。調査区内においては、水口の位置から西側の水田面に給水していたことは間違いないようである。大半は調査区外となるため詳細は不明であるが、本遺跡直近の水田への給水を賄っていたことも考えられ、また上流に基幹水路の存在も想定されるものである。

中・近世

本遺跡における中・近世の遺構は、溝2条、土坑13基、ピット4基を検出している。そのうち土坑9基（SK01～09）とピットについては、覆土にAs-B軽混土と一部にはAs-B軽石下水田の基盤層をブロック状に含んでいることから、混土層堆積以降に掘り込まれたものであり、以降の時期は中世以降と考えられる。

4基の土坑（SK10～13）は天明3年の浅間山噴火に伴う、As-A復旧坑である。第1面の重機掘削の際に調査区壁面にて確認したもので、平面的なプランの検出には至らなかったが、同様のAs-A復旧坑は萩原沖中遺跡7等の周辺遺跡でも検出されており、本遺跡の周辺に面的な広がりを認められる遺構である。また、2条の溝についても、覆土や断面観察から近世の遺構と思われる。

2 まとめ

本遺跡周辺は水田の確認事例が多い地域であり、今回の発掘調査でも2面の水田面を検出しており、古墳時代から耕作が継続的に営まれた地域といえる。また、第3面で検出した周溝状遺構は建物跡および埋葬施設になる可能性があり、古墳時代の集落域と墓域、生産域との関連性についての研究に対する資料となり得る。しかしながら、周辺での検出事例がやや少なく、集落域・墓域どちらとして展開していくのかは今後の事例の追加・検討を持って明らかにしていく必要がある。

最後に、調査に従事された作業員の方々、現地調査・作業で御指導、御助言いただいた方々、また調査進行にご協力をいただいた全ての方に謝意を記し、結びとしたい。

参考文献

論文等

- 新井 仁 2008 「奈良地割導入後の水田と集落の様相 - 前橋台地南部地域を中心として -」『研究紀要』26 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 飯島義雄 1998 「古墳時代前期における「周溝をもつ建物」の意義」『群馬県立博物館紀要』第19号 群馬県立博物館
- 飯島義雄 2005 「「周溝をもつ建物」における掘り方の確認の意義 - 前橋台地上に立地する横手早稲田遺跡における例を中心として -」

及川良彦 1998 「関東地方の低地遺跡の再検討－弥生時代から古墳時代前半の「周溝を有する建物跡を中心に」－」『青山考古』第15号 青山考古学会

及川良彦 2004 「方形周溝墓の抱える問題 関東地方の低地遺跡の再検討（5）－墓と住居の誤謬－」『方形周溝墓研究の今』Ⅱ

方形周溝墓シンポジウム実行委員会

田口一郎 2000 「北関東西部におけるS字口緑甕の波及と定着」『S字甕を考える』東海考古学フォーラム三重大会事務局

友廣哲也 1991 「群馬県における古墳時代前期の土器様相」『群馬考古学手帳』2 群馬土器観会

中島直樹・吉澤 学 2004 「群馬県玉村町における条里地割の復原」『東国史論』第19号 群馬考古学研究会

中里正憲 2000 「砂町遺跡における大畦畔の調査例」『群馬考古学手帳』10 群馬土器観会

能登 健・小島敦子 2006 「関東地方の初期S字甕出土遺跡の立地について」『研究紀要』24 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

福田 聖 2009 「関東地方における「周溝」の研究をめぐって」『古代』第122号 早稲田大学考古学会

若狭 徹 1990 「群馬県における弥生土器の崩壊過程」『群馬考古学手帳』1 群馬土器観会

若狭 徹 2000 「S字口緑甕波及期の様式変革と集団動態－群馬県地域の場合－」『S字甕を考える』東海考古学フォーラム三重大会事務局

群馬県教育委員会 1988 「群馬県の中世城館跡」

群馬県史編さん委員会 1981 「群馬県史」資料編3

高崎市史編さん委員会 1996 「新編 高崎市史」資料編3 中世Ⅰ

高崎市史編さん委員会 1998 「新編 高崎市史」資料編1 原始古代Ⅰ

高崎市史編さん委員会 1999 「新編 高崎市史」資料編2 原始古代Ⅱ

高崎市史編さん委員会 2000 「新編 高崎市史」通史編2

高崎市史編さん委員会 2002 「新編高崎市史」資料編8

高崎市史編さん委員会 2003 「新編 高崎市史」通史編1

かみつけの里博物館第2回特別展 1998 「人が動く・土器も動く 古墳が成立する頃の土器の交流」かみつけの里博物館

かみつけの里博物館第12回特別展 2004 「1108－浅間山噴火－中世への胎動」かみつけの里博物館

かみつけの里博物館第14回特別展 2006 「はるな30年物語－古墳時代に榛名山が大噴火した。災害と向き合うヒト、そして復興へ。」かみつけの里博物館

文化庁文化財部記念物課 2010 「周溝をもつ建物」『発掘調査のてびき』集落遺跡発掘編

発掘調査報告書

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 「三和工業団地Ⅰ遺跡（2）」－縄文・古墳・奈良・平安時代編－

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 「宿横手三波川遺跡」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 「亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 「宿横手三波川遺跡」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 「西横手遺跡群」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 「宿横手三波遺跡・西横手遺跡群」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 「横手南川端遺跡・横手湯田遺跡」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 「上滝榎町北遺跡」

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 「上滝榎町北遺跡・上滝Ⅱ遺跡」

高崎市教育委員会 1981 「元島名将軍塚古墳」

高崎市教育委員会 1989 「西横手遺跡群（Ⅰ）」

高崎市教育委員会 1990 「西横手遺跡群（Ⅱ）」

高崎市教育委員会 1992 「高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」

高崎市教育委員会 2000 「高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書14」

高崎市教育委員会 2003 「萩原八幡西・上五丁田Ⅲ・下五丁田Ⅱ遺跡」

高崎市教育委員会 2005 「萩原沖中遺跡」

高崎市教育委員会 2007 「萩原沖中Ⅱ遺跡」

高崎市教育委員会 2009 「萩原沖中遺跡第3次調査」

高崎市教育委員会 2009 「萩原沖中遺跡5」

高崎市教育委員会 2009 「萩原・沖中遺跡6」

高崎市教育委員会 2013 「萩原沖中遺跡7 西横手・西免遺跡4 西横手・西免遺跡5」

前橋市教育委員会 2010 「南部拠点地区遺跡群No.4」

前橋市教育委員会 2014 「南部拠点地区遺跡群No.11」

写真図版



遺跡の位置（1980年、上が北）



第3面全景（北から）



第3面全景（南から）



1号周溝状遺構全景（南西から）



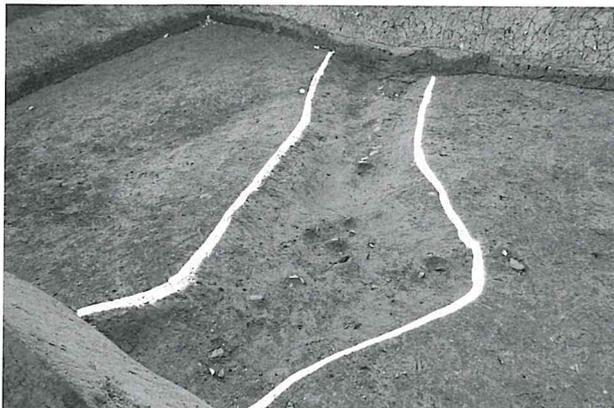
1号周溝状遺構遺物出土状況（東から）



2・3号周溝状遺構全景（南から）



3号周溝状遺構遺物出土状況（西から）



4号周溝状遺構全景（南から）



4号周溝状遺構遺物出土状況（南から）



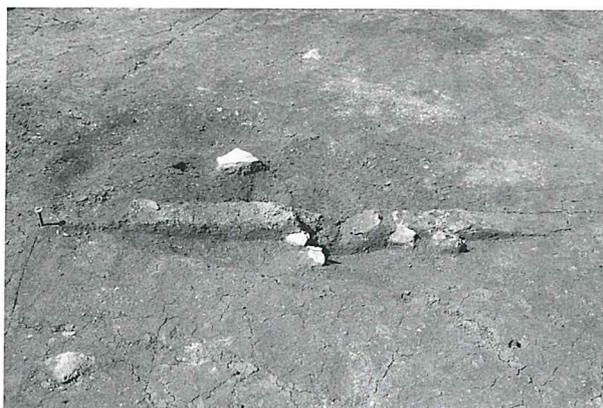
5号周溝状遺構全景（南東から）



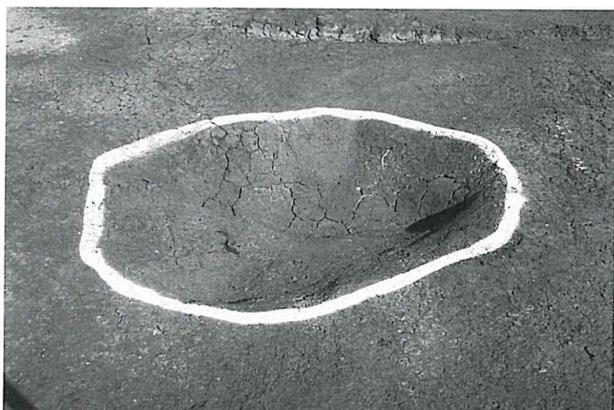
5号周溝状遺構検出状況（南から）



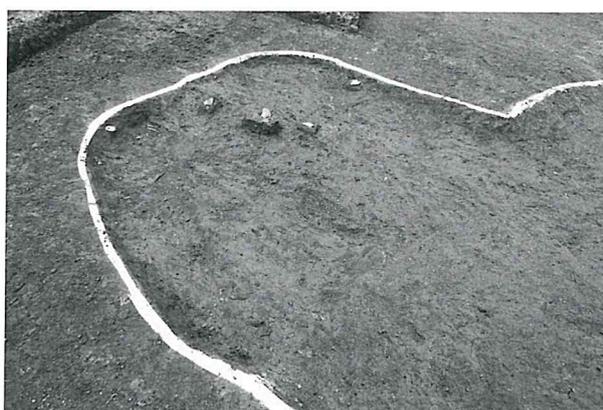
1号埋甕全景 (南から)



1号埋甕掘り方全景 (南から)



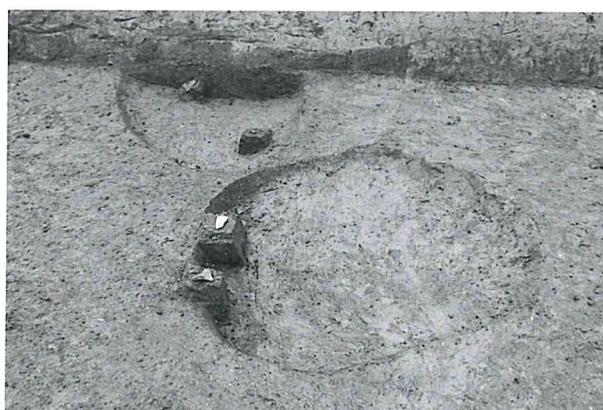
SK14全景 (東から)



SK15全景 (南から)



SK15遺物出土状況 (南から)



SK16・17全景 (東から)



SK18全景 (南から)



SK18焼土・灰検出状況 (南から)



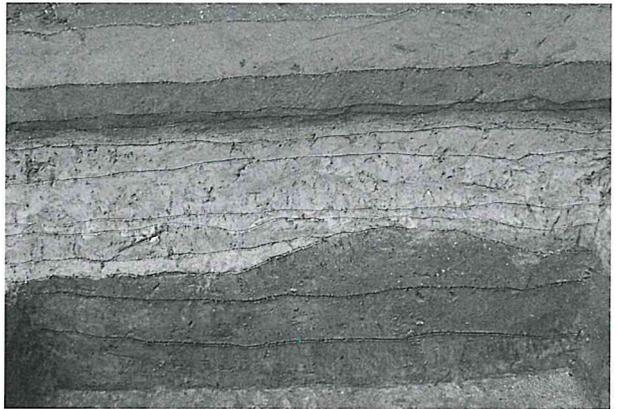
Hr-FA洪水層下水田全景（南東から）



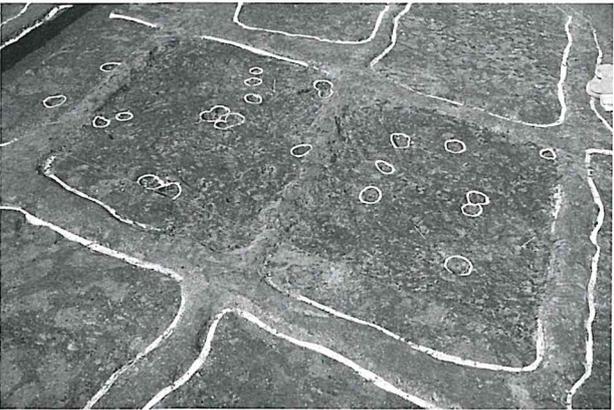
畦畔・水口検出状況（南西から）



東西大畦畔・水口全景（南西から）



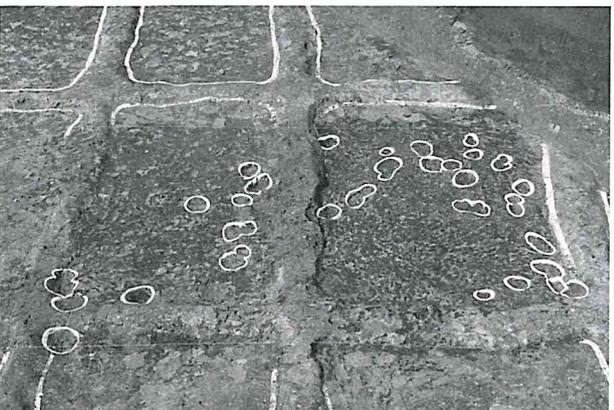
東西大畦畔断面（南から）



足跡A完掘状況（南から）



足跡B完掘状況（南から）



足跡C完掘状況（南から）



Hr-FA洪水層下水田調査風景（南から）



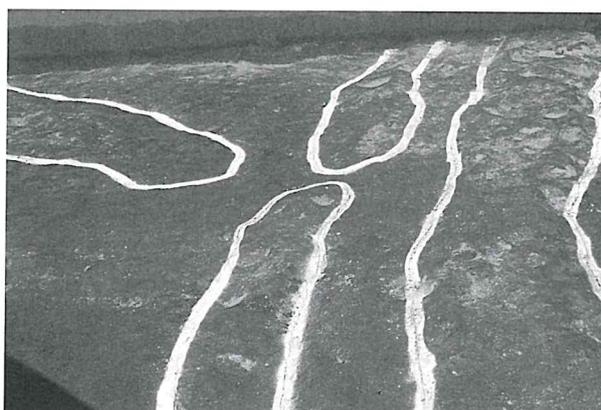
As-B軽石下水田全景（南から）



As-B軽石下水田全景（北西から）



畦畔全景（南から）



水口全景（南から）



畦畔C-C'（北から）



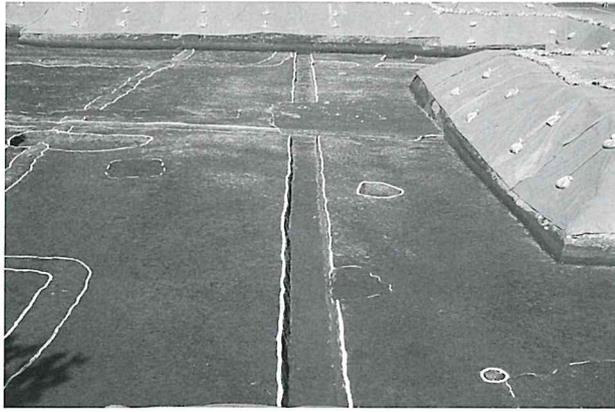
畦畔D-D'（南から）



畦畔H-H'（東から）



畦畔M-M'（東から）



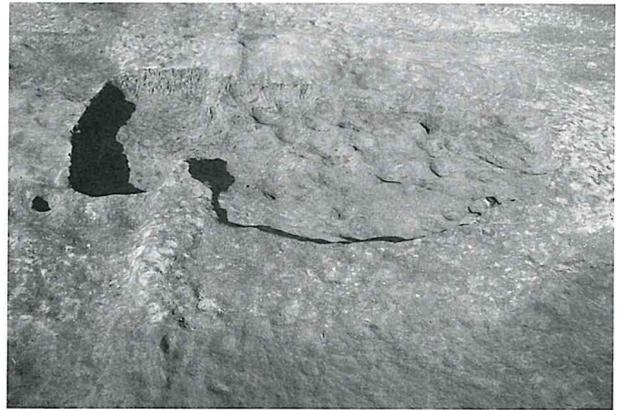
SD01全景 (南から)



SD02全景 (西から)



SK01全景 (南から)



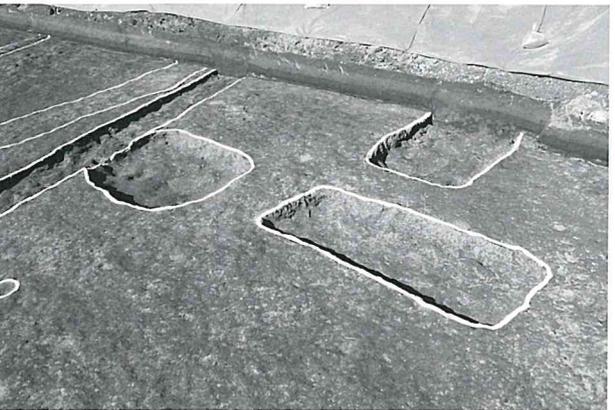
SK02・03全景 (南から)



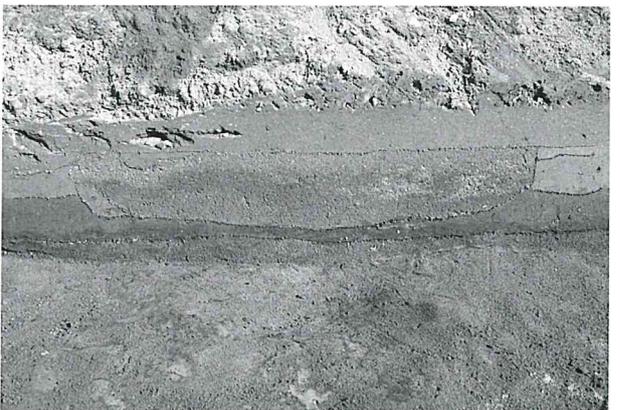
SK04・05全景 (東から)



SK06全景 (東から)



SK07~09全景 (南から)



SK10全景 (西から)



1号周溝状遺構 - 1



1号周溝状遺構 - 2



1号周溝状遺構 - 3



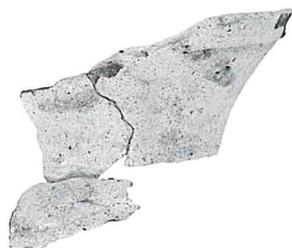
1号周溝状遺構 - 5



1号周溝状遺構 - 4



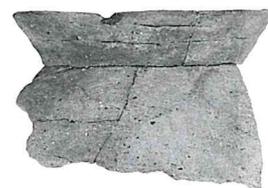
1号周溝状遺構 - 6 (1/4)



1号周溝状遺構 - 7 (1/4)



1号周溝状遺構 - 9 (1/4)



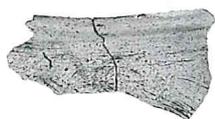
1号周溝状遺構 - 10 (1/4)



1号周溝状遺構 - 8 (1/4)



1号周溝状遺構 - 11 (1/4)



1号周溝状遺構 - 12 (1/4)



1号周溝状遺構 - 14 (1/4)



1号周溝状遺構 - 15 (1/4)



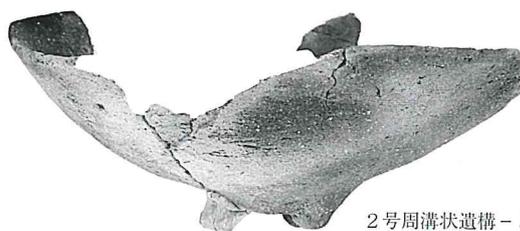
1号周溝状遺構 - 13 (1/4)



2号周溝状遺構 - 1



2号周溝状遺構 - 2



2号周溝状遺構 - 3



2号周溝状遺構 - 4



2号周溝状遺構 - 5 (1/4)



2号周溝状遺構 - 6 (1/4)



2号周溝状遺構 - 7 (1/4)



2号周溝状遺構 - 9 (1/4)



2号周溝状遺構 - 10 (1/4)



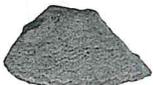
2号周溝状遺構 - 8 (1/4)



2号周溝状遺構 - 11 (1/4)



2号周溝状遺構 - 12 (1/4)



3号周溝状遺構 - 1



3号周溝状遺構 - 2



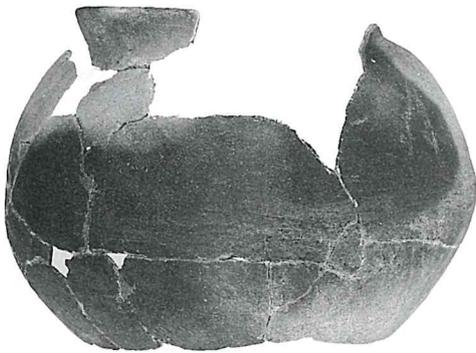
3号周溝状遺構 - 3



3号周溝状遺構 - 6 (1/4)



3号周溝状遺構 - 7 (1/4)



3号周溝状遺構 - 4 (1/4)



3号周溝状遺構 - 5 (1/4)



3号周溝状遺構 - 8 (1/4)



4号周溝状遺構 - 1 (1/4)



5号周溝状遺構 - 1



4号周溝状遺構 - 2 (1/4)



1号埋甕 - 1 (1/4)



SK15 - 1



SK17 - 1



SK17 - 2



Hr-FA 洪水層下水田面 - 1



Hr-FA 洪水層下水田面 - 2



As-B 軽石下水田面 - 1 (1/4)



SD01 - 1



SK02 - 1



SK10 - 1 (1/4)

報告書抄録

ふりがな	はぎわら・おきなかいせき8
書名	萩原・沖中遺跡8
副書名	工場新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	-
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	352
編著者名	山田 誠司
編集機関	技研コンサル株式会社
編集機関所在地	〒371-0031 群馬県前橋市下小出町1-15-3
発行機関	高崎市教育委員会
発行機関所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1
発行年月日	2015年8月31日

ふりがな	ふりがな	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
はぎわら おきなか 萩原・沖中遺跡 第8次調査	たかさき し はぎわらまち 高崎市萩原町100-1	102020	622	36°20'5	139°4'20	20150105 } 20150315	1,343㎡	工場新設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
萩原・沖中遺跡 第8次調査	水田	古墳時代	周溝状遺構 5基 土坑 5基 埋甕 1基 Hr-FA洪水層下水田	弥生土器 土師器	古墳時代前期の周溝状遺構。
		平安時代	As-B軽石下水田	須恵器 土師器	5世紀末～6世紀初頭の榛名山噴火を起因とする洪水堆積物に覆われた水田跡。
		中・近世	溝 2条 土坑 13基 ピット 4基	須恵器 土師器 陶磁器	天仁元年(1108)浅間山噴火によるAs-B軽石に覆われた条里型区画を伴う水田跡。

高崎市文化財調査報告書第352集

萩原・沖中遺跡 8

2015年8月24日 印刷

2015年8月31日 発行

発行

高崎市教育委員会

〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1292

編集

技研コンサル株式会社

印刷

朝日印刷工業株式会社